

**平成 30 年度**

**事 業 報 告 書**

**事業報告の附属明細書**

**公益財団法人かわさき市民活動センター**

## 目 次

### 事業報告書

1 当法人の現況に関する事項	1
(1) 事業の経過及びその成果	1
(2) 直前3事業年度の財産及び損益の状況	1
(3) 主要な事業内容	1~2
(4) 重要な契約に関する事項	2
(5) 職員に関する事項	2
(6) 役員会等に関する事項	2~4
2 役員等に関する事項	4
(1) 理事	4
(2) 監事	4
(3) 評議員	4~5
(4) 退任した役員	5
(5) 役員等の報酬	5

### 事業報告の附属明細書

I 役員以外の法人等の業務執行理事等との重要な兼職の状況	6
II 事業の実施状況について補足すべき重要事項【事業の概要】	6
1 市民活動推進事業	6~16
2 青少年健全育成事業	17~42
3 法人の運営	43

# 事業報告

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

はじめに

当財団の使命は、「川崎市における市民活動支援の中間支援組織として市民相互の連携を図りながら市民活動の活性化を促進するとともに、青少年の心身の健全な育成を図るため、青少年事業の推進及び地域組織への支援を行い、もって住みよい地域社会の確立に寄与する」ことが定款第3条に定められています。平成30年度においても「市民活動推進事業」及び「青少年健全育成事業」を2本の柱として、地域の関係団体・関係機関と連携した事業展開を図りました。

「市民活動推進事業」では、市民活動団体がより活発に活動できるよう、市民活動に関わる人材育成やスキルアップを図るための各種講座や事業を実施するとともに、事業成果報告書を新たに発行し、また、ホームページのリニューアル等、事業の「見える化」「伝える化」を進めました。また、フリースペースのパソコンの買い替えや大判印刷機の試行導入等、さまざまな側面から市民活動をサポートする事業を推進しました。

「青少年健全育成事業」では、子どもたちが安心して楽しく過ごせる居場所となるよう、多彩な事業を実施しました。平成31年度から5年間の指定管理者へ応募し、令和2年度に再開する小杉こども文化センターを含めて、こども文化センター53館及びわくわくプラザ102校を受託することとなりました。引き続き安定した運営を行うために、新たな職を設定するなど仕様に即した運営に向けて万全な準備を進めました。

また、法人として確実な組織運営と健全な財政運営を心掛けた経営を行い、公益目的事業の推進を図りました。

## 1 当法人の現況に関する事項

### (1) 事業の経過及びその成果 (3月補正後) (単位：千円)

事業別【経常収益】	予算現額	執行済額	執行率
市民活動推進事業	95,881	95,270	99.36%
青少年健全育成事業	2,930,620	2,936,122	100.18%

### (2) 直前3事業年度の財産及び損益の状況 (単位：千円)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度 (当事業年度)
経常収益	2,939,892	2,870,310	3,018,763	3,078,087
当期経常増減額	76,429	△17,627	△15,600	△52,817
正味財産期末残高	315,748	298,438	283,046	230,248

### (3) 主要な事業内容

事業	主要な事業の内容
市民活動推進事業	・市民活動に関する情報の収集・提供及び啓発事業 ・市民活動に関する調査・研究事業 ・市民活動に関する人材育成及び相談事業

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動の促進・支援事業</li> <li>・関係機関・関係団体等との連携</li> <li>・その他目的を達成するために必要な事業（理事会又は評議員会で決議する事業）</li> </ul>
青少年健全育成事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の健全育成に関する事業</li> <li>・青少年施設の管理運営の受託</li> <li>・関係機関・関係団体等との連携</li> <li>・その他目的を達成するために必要な事業（理事会又は評議員会で決議する事業）</li> </ul>

#### (4) 重要な契約に関する事項

契約年月日	相手方	契約金額	契約期間	契約の概要
平成 30 年 4 月 1 日	川崎市	合計 2,736,327,789 円	H30.4.1 から H31.3.31 まで	川崎市こども文化センター指定管理業務の受託に伴う年度協定書

#### (5) 職員に関する事項

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

職名等	氏名	就任年月日	担当事務	備考
事務局長	濱舘 幸二	H28.06.13	事務局の総括	重要な使用人
総務課長	秋田 達也	H28.07.01	課の総括	
市民活動推進課長	犬塚 裕雅	H29.04.01	〃	(参事)
青少年事業課長	大倉 萬里子	H22.10.01	〃	(参事)
青少年事業課主幹	島 忍	H22.10.01	エリアマネージャーの総括	
その他の職員（派遣職員を除く。）				1,802 人

#### (6) 役員会等に関する事項

##### ア 理事会

会議名	開催年月日	議 題	会議の結果
第 1 回	平成 30 年 5 月 29 日	議案（決議事項） 第 1 号 平成 29 年度事業報告及び決算について 第 2 号 平成 30 年度 5 月補正予算について 第 3 号 平成 30 年度第 2 回評議員会の開催について	可決 可決 可決
		理事長及び常務理事の職務の執行状況の報告 1 専決処分（決議事項） 第 1 号 規則の改正について 第 2 号 加藤理事の利益相反取引について 第 3 号 年度協定書の締結について 2 報告事項 第 1 号 特定費用準備資金の支出結果について 第 2 号 行政庁へ提出する事業報告書等について	可決 可決 可決  了承 了承

第2回	平成30年 6月21日	議案（決議事項） 第1号 理事長の選定について 第2号 副理事長及び常務理事の選定について	可決 可決
第3回	平成30年 11月27日	議案（決議事項） 第1号 平成30年度第3回評議員会の開催について 理事長及び常務理事の職務の執行状況の報告 報告事項 第1号 川崎市こども文化センター指定管理者への応募及び選定結果について 第2号 平成30年度上半期の事業等について 第3号 全市的イベントの実施について	可決 了承 了承 了承
第4回	平成31年 3月14日	議案（決議事項） 第1号 平成30年度3月補正予算について 第2号 平成31年度事業計画について 第3号 平成31年度収支予算等について 第4号 平成31年度第1回評議員会の開催について 第5号 規則の改正について 理事長及び常務理事の職務の執行状況の報告 1 専決処分（決議事項） 第1号 規則の改正について 2 報告事項 第1号 職員採用選考及び昇任試験の結果について 第2号 全市的イベントの実施結果について	可決 可決 可決 可決 可決 可決 了承 了承

### イ 評議員会

会議名	開催年月日	議 題	会議の結果
第1回	平成30年 4月19日	報告事項 第1号 個人情報の保護に関する規定の整備について 第2号 規則の制定及び改正について 第3号 平成29年度3月補正予算について 第4号 平成30年度事業計画について 第5号 平成30年度収支予算等について 第6号 行政庁への事業計画書等の提出について 第7号 職員採用選考及び昇任試験の結果について 第8号 全市的イベントの実施結果について	了承 了承 了承 了承 了承 了承 了承 了承
第2回	平成30年 6月21日 (定時評議員会)	議案（決議事項） 第1号 平成29年度事業報告及び決算について 第2号 理事の選任について 第3号 監事の選任について 第4号 評議員の選任について 報告事項 第1号 平成30年度5月補正予算について 第2号 規則の改正について 第3号 年度協定書の締結について 第4号 特定費用準備資金の支出結果について	可決 可決 可決 可決 了承 了承 了承 了承

		第5号 行政庁へ提出する事業報告書等について	了承
第3回	平成30年 12月11日	報告事項 第1号 川崎市子ども文化センター指定管理者への応募及び 選定結果について 第2号 平成30年度上半期の事業等について 第3号 全市的イベントの実施について	了承 了承 了承

## 2 役員等に関する事項

(平成31年3月31日現在)

### (1) 理事

役職名	氏名	任期	常勤 非常勤	報酬	他の法人等の代表状況等
代表理事 (理事長)	小倉 敬子	H30.6.21 から H32.6 定時評議員 会の終結の時まで	常勤	有	LET'S 国際ボランティア交流会 代表
副理事長	鈴木 眞智子	〃	非常勤	〃	特定非営利活動法人 水・防災機構 理事長
副理事長	福田 武雄	〃	〃	〃	川崎市青少年育成連盟 副理事長
代表理事 (常務理事)	安藤 勲	〃	常勤	〃	元川崎市議会局長
理事	加藤 妙子	〃	非常勤	〃	おと絵がたり 代表
〃	新藤 みゆき	〃	〃	〃	川崎市PTA連絡協議会 副会長
〃	深瀬 浩由	〃	〃	〃	川崎市クリエイション連盟 会長
〃	福芝 康祐	〃	〃	〃	社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会 事務局長
〃	宮津 健一	〃	〃	〃	公益財団法人 川崎市生涯学習財団 副理事長
〃	吉田 輝久	〃	〃	〃	川崎市全町内会連合会 常任理事

### (2) 監事

役職名	氏名	任期	常勤 非常勤	報酬	他の法人等の代表状況等
監事	岩森 耕太郎	H30.6.21 から H32.6 定時評議員 会の終結の時 まで	非常勤	有	特定非営利活動法人 かわさき MOVEARTOO隊 理事長
〃	志村 佳徳	〃	〃	〃	税理士

### (3) 評議員

役職名	氏名	任期	常勤 非常勤	報酬	他の法人等の代表状況等
評議員	齊藤 準	H30.6.21 から H34.6 定時評議員 会の終結の時 まで	非常勤	有	特定非営利活動法人 川崎市視覚 障害者福祉協会 理事
〃	佐治 克哉	〃	〃	〃	川崎フロンターレ後援会 事務局長

評議員	菅原 陽子	H30.6.21 から H34.6 定時評議員会 終結の時まで	非常勤	有	夏菟太鼓 代表
"	竹井 斎	"	"	"	特定非営利活動法人 アクト川崎 理事長
"	土澤 稔	"	"	"	元川崎市立中学校校長
"	永津 英二郎	"	"	"	税理士
"	仁藤 公子	"	"	"	元川崎市立小学校校長
"	前田 成東	"	"	"	東海大学教授
"	谷島 義雄	"	"	"	宮前区子ども会連合会 会長

#### (4) 退任した役員等

氏名	退任時の地位	退任日	退任理由
太田 直	代表理事（常務理事）	平成 30 年 6 月 21 日	任期満了
持田 和夫	理事	"	"
吉澤 慶太	理事	"	"
浅田 省三	監事	"	"
三枝 博男	評議員	"	"
東田 乗治	評議員	"	"

#### (5) 役員等の報酬

区分	人数	報酬の総額	備考
理事	13人	6,288千円	常勤及び非常勤
監事	3人	136千円	非常勤
評議員	11人	184千円	非常勤
合計	27人	6,608千円	

注1：上記には、平成30年6月21日開催の定時評議員会の終結の時をもって、任期満了により退任した理事3人、監事1人、評議員2人を含む。

2：理事、監事及び評議員の報酬額は、平成26年12月8日開催の評議員会において了承された「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規則」において定められている。

3：評議員の報酬の限度額は、定款第15条において、毎年度総額30万円を超えないものとされている。

# 事業報告の附属明細書 <<平成 30 年度事業報告>>

(平成 30 年 4 月 1 日~平成 31 年 3 月 31 日)

## I 役員その他の法人等の業務執行理事等との重要な兼職の状況

役員の主な他の法人等の代表状況等については、4頁「2 役員等に関する事項」のとおりです。

## II 事業の実施状況について補足すべき重要事項【事業の概要】

### 1 市民活動推進事業

全市・全領域の市民活動団体の中間支援組織として、これまでの経験と知識を活かし、川崎市民のボランティア活動及び市民活動団体への支援・育成に取り組みました。平成 30 年度の主な取組結果は、次のとおりです。

#### (1) 活動拠点施設運営事業

平成 30 年度の利用登録団体数は、新規 51 団体、計 766 団体でした。

大判印刷機の試験運用を終了し、31 年度より正式に導入することとしました。

施設・設備名	平成 29 年度		平成 30 年度		前年度同期比較 (増減)	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
会議室 A	565 団体	5,894 人	589 団体	6,200 人	24 団体	306 人
会議室 B	507 団体	4,809 人	532 団体	4,969 人	25 団体	160 人
印刷室	486 団体	1,088 人	573 団体	1,163 人	87 団体	75 人
フリースペース	4,297 団体	19,003 人	4,690 団体	20,091 人	393 団体	1,088 人
パソコン (2 台)	494 団体	741 人	427 団体	715 人	△67 団体	△26 人
ロッカー・大 (72 台)	72 台		89 台		17 台	
ロッカー・小 (9 台)	9 台		8 台		△1 台	
レターケース (57 台)	39 台		43 台		4 台	
市民活動ブース 1	認定 NPO 法人キーパーソン 21				/	
市民活動ブース 2	Women's body labo					
市民活動ブース 3	おと絵がたり					
市民活動ブース 4	かわさき J プロジェクト+	ランドヌ東京				
市民活動ブース 5	一般社団法人だじゃれ活用協会					
<b>施設・設備等利用合計</b>	<b>6,349 団体</b>	<b>31,535 人</b>	<b>6,811 団体</b>	<b>33,138 人</b>	<b>462 団体</b>	<b>1,603 人</b>

#### (2) 情報提供・啓発事業

##### ア 情報紙「ナンバーゼロ」の発行

ボランティア・市民活動団体に有益な情報を提供するため、隔月 7,500 部 (1・4 面フルカラー、2・3 面モノクロ) 発行し、市内公共機関、関係団体に配布しました。

また、31 年度の市民活動団体向け直接郵送配布に向け、冬号を利用登録団体に送付し、郵送希望の意向を調査しました。

##### イ ボランティア・市民活動募集冊子「ボラ・ナビ」の発行

ボランティア・市民活動に参加してみたいという学生や市民に役立ててもらうため、市内活

動団体のボランティア募集情報を掲載した小冊子「ボラ・ナビ 2019」を川崎市社会福祉協議会と共同で 5,000 部発行し、市内関係機関・団体、学校等に配布しました。

また、主に児童・生徒・学生向けの「ボラ・ナビ 2018 夏休み版」を 3,500 部発行しました (A6 版/16 ページ、掲載団体 32 団体/掲載情報 36 件)。

#### ウ 神奈川新聞へのコラム「市民発」の連載

市内ボランティア・市民活動の情報発信を目的に、22 人の市民記者の取材・執筆による様々な記事を神奈川新聞の協力を得て、同紙の土曜版に「市民発 地域をつくる人・活動」と題したコラムに連載しています。今年度は 49 回連載しました。

#### エ 市民活動ポータルサイト「応援ナビかわさき」の運営

川崎市内における市民活動のポータルサイトとして役立つよう、イベント・講座、ボランティア募集、団体詳細、民間助成金、最新情報を迅速に掲載するとともに、コンテンツの充実に努めました。一年間のアクセス総数は 43,596 件 (月平均で約 3,600 件) でした。また、メールマガジンをメルマガ会員 (270 人) あてに年 5 回配信したほか、新着情報を応援ナビかわさきの Twitter で発信し、ツイート数は 2015 年 7 月の開設以来、2,300 件を超えました。

#### オ 市民活動推進事業ページのリニューアル

市民活動を始めたい人向けに探しやすい構成としたほか、SNS やスマートフォン、WEB アクセシビリティに対応したページとして 10 月にリニューアルしました。一年間のアクセス総数は 79,301 件 (月平均約 6,600 件) でした。とくに 10 月からの 6 か月間で、53,462 件 (月平均約 8,900 件) とアクセス数が増えました。また、講座・イベントの様子を Facebook に文章・写真・動画でライブ発信しました。

#### カ 事業成果報告書の発行

市民活動推進事業の半期ごとの成果を「見える化」「伝える化」し、市民からの共感と支持を広く得るため、事業成果報告書を 6 月と 12 月に各 500 部発行し、賛助会員、関係団体及び市内公共機関に送付しました。

### (3) 活動促進事業

#### ア ごえん楽市 (かわさきボランティア・市民活動フェア) の開催

2019 年 2 月 2 日 (土)、かわさき市民活動センター・中原市民館で開催し、89 団体 (新規 21 団体) が出展し、約 1,800 人の来場がありました。

パネル展示 55 団体、団体企画 39 件、フリーマーケット 10 団体の出展のほか、主催者企画で「グラフに絵をかいてみよう (協力: ひとしずく株式会社)」「アイデアでパネルをいっぱいにしよう」「川崎産の野菜販売・ランチ販売」などを実施しました。

#### イ ごえんカフェ (市民活動交流会) の開催

分野・領域・地域を越えた、市民活動団体等の相互交流・連携の促進を図るため、ごえんカフェ (市民活動交流会) を 10 月 13 日 (土) に開催し、82 人の参加がありました。

また、団体の悩みや困りごとについてテーマ別に話し合う「ミニカフェ」を 2 回開催。第 1 回 (7 月 29 日)「あなたの団体のイベントに法律問題が隠れているかも?!」は 6 団体 7 人、第 2 回 (12 月 2 日)「~きつとうまくいく『寄付集め』、はじめの第一歩!~」には 7 団体 7 人が参加しました。

#### ウ 大学と市民活動団体との連携・協働の支援

専修大学ネットワーク情報学部と連携し、市民活動団体の広報支援を実施しています。平成 30 年度は 10 団体が参加し、団体のプロモーション映像やパンフレットの作成を行いました。

また、学生がその成果を発表する「かわさき NPO 映像交流会」を、2019 年 2 月 7 日 (木)にかわさき市民活動センターで開催しました。

#### (4) 研修・人材育成事業

##### ア パワーアップセミナーの開催

主にボランティア・市民活動団体を対象にパワーアップセミナーを計 10 回開催しました。また、昨年度に引き続き、最終回として「受講内容をどのように活動に活かせたか」の具体的な成果事例の発表会を催し、さらに発表内容をグラフィックレコーディングの手法を用いて「見える化」しました。受講者アンケートによると、講座への満足度は平均 94%となりました。

各回の内容や参加数等については【11頁：別表1】に記載。

##### イ 市民記者ブラッシュアップ研修の開催

市民記者のスキルアップを目的として、3月13日（水）に開催し、15人の参加がありました。神奈川新聞川崎総局総局長の瀧村誠氏と市民記者の小島博記氏から、「魅力的な文章の書き方」「伝わる文章の書き方」「取材力」などについて講義をしてもらいました。

#### (5) 相談事業

##### ア 職員による市民活動相談の実施

ボランティア活動を始めたいという相談、団体の設立や運営に関する相談、企業からの社会貢献活動の相談など、市民活動全般に関わる相談をセンター職員が対応し、1年間で28件の相談がありました。

##### イ NPO 向け専門相談の実施

NPO向け専門相談の実績は以下のとおりです。

区分	件数	共催
会計相談	10件	東京地方税理士会
法務相談	2件	行政書士オレンジ会（行政書士会川崎南支部有志）
	12件	神奈川青年司法書士協議会

##### ウ NPO 法人の手续に関する相談の実施<川崎市と共催>

センター職員と川崎市職員によるNPO法人の設立などに関する出張相談を実施し、3件（※）の相談がありました。※6月8日多摩1件、10月12日高津0件、2月8日麻生2件。

#### (6) 連絡・調整事業

##### ア 市・区の市民活動支援担当者との定期的情報交換会等の開催

市民活動推進課（市民文化局）との定例会を7回開催しました。

##### イ 中間支援ネットワーク会議の開催

市内の市民活動に係る中間支援ネットワーク会議を3回実施し、テーマを設定し情報交換を行いました。

第1回：7月11日（水）「相談機能」6団体11人

第2回：11月22日（木）「情報発信（提供）」6団体11人

第3回：3月25日（月）「講座（研修）事業」5団体7人

##### ウ 川崎防災ボランティアネットワークの運営

団体間の情報交換と連携協力を図るため、定例会を6月11日に開催し、10団体の参加がありました。また、市からの要請に基づき、平成30年度川崎市総合防災訓練（川崎区、9月1日実施）に参加・協力しました。

##### エ 川崎市社会福祉協議会との連絡調整会議の開催

4月10日に川崎市社会福祉協議会・ボランティア活動振興センターとの連絡調整会を開催し、事業計画書についての情報交換及び共催事業についての調整等を行いました。

## (7) 職員等派遣事業

各団体の要請に基づき、役員 14 回、職員 42 回を講師等として派遣しました。派遣先の主催者や対象者等については【12頁：別表2（ア）】【13頁：別表2（イ）】に記載。

## (8) かわさき市民公益活動助成金運営事業

平成 30 年度のかわさき市民公益活動助成金運営事業に関わる審査等の実施状況は、次のとおりです。

また、平成 29 年度公開事業報告会を 4 月 8 日に実施しました。

審査委員会	第二次審査・公開プレゼンテーション（4月14日、15日）	
審査結果	スタートアップ助成 ・申請 21 団体 交付 17 団体 ステップアップ助成（30・100・200） ・申請 66 団体 交付 48 団体	合計 ・申請 100 団体 ・交付 78 団体
	組織基盤強化助成 ・申請 13 団体 交付 13 団体	
交付総額 （決算額）	19,551,473 円 （内訳＝川崎市：16,226,473 円・河川財団：3,325,000 円）	
その他	組織基盤強化フォーラム（6月17日）※平成 29 年度組織基盤強化助成報告会 参加者 42 名（19 団体）、出展数 10 企業・団体	

なお、募集期間は平成 29 年 11 月 21 日～平成 30 年 2 月 28 日でした。また、第一次審査（書類審査）のための審査委員会を 2 月 27 日および 3 月 2 日に開催しました。

## (9) 災害ボランティア活動助成事業

平成 30 年度は、主に西日本豪雨災害に係る活動として 4 件の申請があり、合計 43,818 円を交付しました。

## (10) 川崎市からの受託事業

### ア 川崎市市民活動（ボランティア活動）補償制度の窓口業務

川崎市市民活動（ボランティア活動）補償制度の窓口業務を受託しました。今年度の状況は、次のとおりです。

期 間	申請件数	支払件数	支払額	昨年度実績
平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月	20 件	17 件	1,490,456 円	496,800 円

なお、平成 25 年度から町内会等から要請がある場合は、当センター職員を派遣し、本事業についての説明等を行い、制度の周知・広報に努めています。派遣先の主催者や対象者等については【15頁：別表3】に記載。

### イ 川崎市協働・連携ポータルサイト「つなぐっど KAWASAKI」管理・運営事業

川崎市から、協働・連携ポータルサイト「つなぐっど KAWASAKI」のコンテンツ情報の拡充などを行う管理・運營業務を受託しました。

### ウ 麻生区のこれからのコミュニティ施策について考えるワークショップ

麻生区から「麻生区のこれからのコミュニティ施策について考えるワークショップ」を受託し、平成 31 年 2 月 10 日（日）に麻生区役所で開催しました。22 人の市民が参加し、「これからのコミュニティづくり」「連携促進の仕組み」について話し合いました。

## エ まちづくりカフェたかつ

高津区から「まちづくりカフェたかつ」を受託し、平成 31 年 3 月 9 日（土）に nokutica（ノクチカ）で開催しました。NPO 法人大森まちづくりカフェ理事のクラカタヒロシ氏の実践報告を受けて、10 人の参加者がまちづくりに関する考えを話し合いました。さらに報告および話し合いの内容を、グラフィックレコーディングの手法を用いて「見える化」しました。

### (11) 職員研修

職員の資質向上や必要とする知識習得等を目的に、市内外で開催される研修やシンポジウムなどに派遣しました。派遣した研修の内容等については【16 頁：別表 4】に記載。

### (12) 賛助会員の確保

種別	会費 (1 口)	平成 29 年度末			平成 30 年度末		
		会員数	口数	賛助総額	会員数	口数	賛助総額
個人会員	1,000 円	75 人	163 口	163,000 円	59 人	162 口	162,000 円
団体会員	5,000 円	31 団体	34 口	170,000 円	29 団体	34 口	170,000 円
合 計		106 人・団体	197 口	333,000 円	88 人・団体	196 口	332,000 円

### (13) 募金・寄付等の取組

#### ア ボランティア・市民活動募金

募金箱を当センター窓口やご協力を得た市内事業者各店舗へ設置しています。募金箱その他を合わせて、平成 30 年度は 128,770 円の寄付がありました。

また、一般社団法人生命保険協会神奈川県協会（幹事会社住友生命保険相互会社川崎支社）から、200,000 円の寄付がありました。

### (14) その他

#### ア 後援名義の使用許可

申請のあった 12 団体に対して、後援名義の使用を許可しました。

#### イ 川崎市社会福祉事業功労者表彰（市長表彰）

第 56 回川崎市社会福祉大会において表彰される川崎市社会福祉事業功労者（市長表彰）として、川崎市認知症ネットワークを推薦したところ、社会福祉推進の功績が認められ受賞しました。

#### ウ 神奈川新聞社 神奈川地域社会事業賞

第 31 回神奈川地域社会事業賞に、かわさき助産師ネットワーク SUN2 を推薦したところ、より良い妊娠・出産・育児を応援、サポートする活動が認められ受賞しました。

**【別表1】パワーアップセミナー**

**①当センター単独開催セミナー**

開催日	内 容		参加数	開催場所
第1回 5月12日	テーマ	人が集まる・参加したくなるイベント企画・運営の極意	29人	センター 会議室
	講師	五井淵利明（NPO法人CRファクトリー代表）		
第2回 6月16日	テーマ	WEBマーケティング・デジタルファンドレイジングの第一歩	21人	
	講師	加藤たけし（NPO法人ソーシャルベンチャー・パートナーズ東京パートナー、株式会社ループス・コミュニケーションズ マーケティング コンサルタント）		
第3回 7月7日	テーマ	リアルなSNSの使い方	22人	
	講師	山田泰久（NPO法人CANPANセンター 代表理事、一般財団法人非営利組織評価センター 業務執行理事）		
第4回 9月8日	テーマ	必ず集客できるチラシの秘密	25人	
	講師	野竿達彦（株式会社Yプロデュース）		
第5回 9月29日	テーマ	団体の魅力をぎゅっ！と伝える三つ折りパンフをつくる	17人	
	講師	林田全弘（小さなNPOを応援するグラフィックデザイナー）		

**②川崎市社会福祉協議会との共催セミナー**

開催日	内 容		参加数	開催場所
第6回 10月20日	テーマ	初めての経理で困ったら 団体の会計・簿記 基本のキ	20人	エポック なかはら （川崎市 総合福祉 センター）
	講師	原一浩		
第7回 12月1日	テーマ	成果を生む事業のロジックモデル～社会を変えるNPO評価	14人	
	講師	粉川一郎（武蔵大学 社会学部メディア社会学科）教授）		
第8回 1月19日	テーマ	団体の終活～次世代へつなげるバトン～	25人	
	講師	川崎市消費者の会、NPO法人グループビボ、かわさき産業観光を支援する会、NPO法人ぐらす・かわさき、行政書士・梅本誠		
成果発表会 2月23日	テーマ	【特別講座】活用成果発表会	8人	
	発表団体	①個別添削で激変！団体の効果的なPR戦術～こすぎの森トーストマスターズクラブ ②活動をみつめ大学生と協働で初めてのパンフを制作～かわさき・食と農のコミュニティ ③全国に広がるステークホルダーに、想いを届けるために～認定NPO法人キーパーソン21		

③川崎市との共催セミナー

NPO法人向け特別連続講座

「5時間でNPO法人の会計の仕組みと活動計算書がわかるようになる」

開催日	内 容		参加数	開催場所
11月20日	テーマ	会計①日々の帳簿管理『運営に必要な会計処理と簿記』	17人	センター 会議室
	講師	講師：原 淳子（原淳子税理士事務所）		
11月27日	テーマ	会計②決算にむけて『NPO 法人の会計基準と活動計算書』評価	23人	
	講師	講師：原 淳子（原淳子税理士事務所）		

【別表2】

(ア) 役員派遣状況

開催日	主 催 者	テ ー マ	対象者	開催場所
6月8日	多摩区役所保健福祉センター・地域みまもり支援センター	多摩区子育て支援者養成講座「ボランティア活動とは～子育て支援のあり方～」	市民	多摩区役所
6月18日	高津区役所地域支援担当	高津区健康づくりボランティア養成講座「地域でボランティア活動を行うために！」	市民	高津区役所
6月27日	宮前区役所保健福祉センター・地域支援担当	宮前区健康づくりボランティア養成講座「ボランティアと地区組織活動：地域でボランティア活動を行うために！」	市民	宮前区役所
8月7日	宮前区生涯学習支援課	夏休み子どもあそびランドサポーター養成講座ボランティアって？ 知っておきたいボランティア心得	市民	宮前市民館
9月10日	中原区役所地域みまもり支援センター・地域ケア推進担当	中原区 ボランティア入門講座「ボランティア はじめの一步を踏み出そう！」	市民	中原区役所
10月3日	川崎区役所地域みまもり支援センター地域支援担当	川崎区すくすく子育てボランティア養成講座「ボランティアって何？～楽しく続けていくために～」	市民	川崎区役所
10月19日	宮前区まちづくり推進部生涯学習支援課	宮前市民館識字ボランティア入門研修「識字（日本語）ボランティアとしての心構えについて」	市民	宮前市民館
10月30日	道路公園センター整備課協働推進担当	花壇ボランティア育成講座「ボランティアの心得」	市民	幸市民館
11月6日	ユウコープかながわ	ユウコープくらしたすけあい活動公開講座「レッツ！ボランティア」	市民	横浜市神奈川区民センター「かなっくホール」
11月17日	道路公園センター整備課協働推進担当	里山ボランティア育成講座「ボランティアの心得」	市民	多摩市民館

開催日	主催者	テーマ	対象者	開催場所
11月18日	川崎市 / 公益財団法人 川崎市文化財団	「Colors かわさき展」シンポジウム「アートで広がる多様なつながり」コーディネーター	市民	ミュージア川崎市民交流室
12月10日	川崎区役所 地域みまもり支援センター 地域支援担当	川崎区健康づくりボランティアフォロー講座 ボランティア活動ってなに? ～楽しく続けていくために～	市民	川崎区役所
1月22日	多摩区 まちづくり推進部 生涯学習支援課	多摩市民館エンパワーメント研修「ボランティア・市民活動について知ろう」	市民	多摩市民館
3月9日	宮前区 まちづくり推進部 生涯学習支援課	宮前区生涯学習交流集会「団体の活動における新しい仲間の巻き込み方：より楽しく充実した活動をするために必要なこと」	市民	宮前市民館

(イ) 職員派遣状況

開催日	主催者	テーマ	対象者	開催場所
5月8日	川崎区企業市民交流事業推進委員会	今年度の取り組み他	委員会委員	川崎区役所
5月10日	高津区まちづくり協議会	区役所と協働のまちづくり	協議会会員	高津区役所
5月15日	川崎区企業市民交流事業推進委員会	事業実施報告、事業計画他	委員会委員	川崎区役所
5月20日	宮前区まちづくり協議会	活動支援金説明会及び審査会	市民活動団体	宮前区役所
6月7日	川崎市社会福祉協議会	各機関の福祉教育推進事業他	委員会委員	JA セレサ川崎 中原支店
6月8日	市民文化局市民活動推進課NPO法人係	NPO法人出張相談	市民	多摩区役所
6月13日	幸区社会福祉協議会	ボランティアセンター運営委員会	運営委員	福祉パル さいわい
7月6日	第39回九都県市合同防災訓練事務局	訓練実施計画	関係者	川崎市役所 第4庁舎
8月4日	川崎区企業市民交流事業推進委員会	かわさき企業市民交流 Day	市民	川崎ルフロン
8月21日	川崎区企業市民交流事業推進委員会	川崎臨海部の夢発見！ バスツアー（運営協力）	市民	川崎マリエン 味の素株式会社他
8月23日	健康福祉局保健所動物愛護センター	業務支援ボランティア共通基礎研修	市民	中原区役所
9月1日	総務局危機管理室	「備える。フェスタ」協力	市民	東扇島東公園 川崎マリエン

開催日	主催者	テーマ	対象者	開催場所
9月10日	社会福祉法人川崎市 社会福祉協議会	指定管理事業申請プレゼン研修	職員	総合福祉 センター
9月10日	川崎区企業市民交流事 業推進委員会交流推進 部会	かわさき企業市民交流 Day 報告他	部会委 員	川崎区役所
9月20日	中原区役所 地域振興課	コスギ・コミュニティ創発会議	関係 団体	中原区役所
9月28日	宮前区社会福祉 協議会	宮前区中間支援組織連絡会議	職員	福祉パル みやまえ
10月4日	社会福祉法人川崎市 社会福祉協議会	指定管理事業申請プレゼン研修	職員	総合福祉 センター
10月12日	市民文化局市民活動 推進課NPO法人係	NPO法人出張相談	市民	CCかわさき 交流コーナ ー
10月25日	専修大学ネットワーク 情報学部	かわさき市民活動団体説明	学生	専修大学生 田キャンパ ス
10月30日	川崎市公園緑地協会	交流事業「花壇編」	団体 市民	幸市民館
10月31日	市民文化局市民活動 推進課	まちづくり推進係長会議	職員	中原区役所
11月2日	健康福祉局地域ケア 推進室	川崎市地域包括ケアシステム構築に 向けた戦略的広報のあり方検討会	委員	ソリッドス クエアビル
11月8日	川崎区企業市民交流 事業推進委員会	企業市民交流事業と各部会の中 間報告	委員	川崎区役所
11月9日	麻生市民館	シニアの社会参加支援事業	市民	麻生市民館
11月15日	市民文化局 経済労働局	地域・社会貢献フォーラム 2018	市民	川崎商工会 議所
11月17日	川崎市公園緑地協会	交流事業「里山編」	団体 市民	多摩市民館
1月29日	総務局危機管理室	川崎市災害ボランティアセンター運 用等に係る会議	関係者	市役所第3 庁舎
2月3日	市民文化局協働連携 推進部	川崎ワカモノ未来 PROJECT 成果 発表会	市民	市役所第4 庁舎
2月6日	川崎区企業市民交流事 業推進委員会	研修会（施設見学）	委員	臨海部他
2月8日	市民文化局市民活動 推進課NPO法人係	NPO法人出張相談	市民	麻生区役所
2月11日	多摩区役所地域振興課	まちカツパネルセッション	団体 市民	多摩区役所

開催日	主催者	テーマ	対象者	開催場所
2月20日	川崎区企業市民交流事業推進委員会	第3回交流推進部会	委員	川崎区役所
2月20日	川崎市社会福祉協議会	地区社協役員研修会	会員	川崎市総合福祉センター
2月21日	中原区役所地域振興課	小杉周辺の市民活動支援や連携の情報共有	関係者	中原区役所
2月28日	市民文化局市民活動推進課	まちづくり推進係長会議	職員	かわさき市民活動センター
3月7日	中原区役所企画課	地域包括ケアワークショップ	市民	中原区役所
3月8日	川崎市社会福祉協議会	福祉教育推進会議	担当者	福祉パルなかはら
3月8日	市民文化局市民活動推進課	認定・条例指定制度説明会	団体	中原区役所
3月9日	幸区社協ボランティアセンター運営委員会	運営委員会と交流会	委員	さいわい健康福祉プラザ
3月14日	川崎区企業市民交流事業推進委員会	第3回推進委員会	委員	川崎区役所
3月15日	宮前区社会福祉協議会	宮前区中間支援組織連絡会議	委員	福祉パルみやまえ
3月19日	中原区役所地域振興課	コスギ・コミュニティ創発会議	委員	中原区役所

【別表3】川崎市市民活動補償制度職員派遣

開催日	主催者	対象者	開催場所
5月29日	中原区地域振興課	市民	中原区役所
8月22日	多摩区道路公園センター	市民	中原区役所
8月23日	宮前区道路公園センター	市民	宮前区役所
8月28日	幸区道路公園センター	市民	幸区役所
8月30日	中原区道路公園センター	市民	中原区役所
8月31日	川崎区道路公園センター	市民	川崎区役所
11月13日	麻生区道路公園センター	市民	麻生区役所
12月6日	川崎市公園緑地協会	市民	中原区役所

**【別表4】職員研修**

開催日	主催者	内容	開催場所
6月29日	さいたま NPO センター	NPO/NGO の組織基盤強化のためのワークショップ in 埼玉	さいたま市浦和コミュニティセンター
7月9日	かながわ県民活動サポートセンター	ボランティア活動支援「CEO ミーティング」	かながわ県民センター
7月13日	日本 NPO センター	NPO と行政の対話フォーラム'18	かながわ県民センター
7月20日	川崎市総務企画局 シティプロモーション	ウェブアクセシビリティ研修	市役所 第4庁舎
7月26日	さいたま NPO センター 会計基準協議会	市民活動支援施設スタッフのための NPO 法人会計基準研修会	さいたま市浦和コミュニティセンター
7月27日	川崎市	平成 30 年度第 1 回都市政策研究会地域づくりのプラットフォーム	高津区役所
8月7日	Yahoo!基金	知らせるプロジェクト「書き手講座」	ヤフー本社
9月3日 4日	かながわ県民活動サポートセンター	ボランティア活動支援施設スタッフ 研修会 in かながわ 2018	マホロバ・ マインズ三浦
9月15日	NPO インターンシップ ラボ実行委員会	NPO インターンシップラボ キック オフシンポジウム	駒澤大学 駒沢キャンパス
11月13日	NPO サポートセンター	NPO 支援サービス展示会	日本財団ビル
11月27日	公益財団法人トヨタ財団	トヨタ NPO カレッジ「カイケツ」成果 発表会	トヨタ自動車東京本社
12月18日	川崎市社会福祉協議会	ボランティアコーディネーター研修	JA セレサ川崎中原支援
1月27日 2月3日	神奈川県県土整備局建 築住宅部住宅計画課	多世代居住のまちづくり 担い手養成講座 2018	にこぼら新地・ 新川崎タウンカフェ
1月29日 2月5日 2月12日	かながわ県民活動サポ ートセンター	空き家を使った地域価値の創造講座 (オブザーバー受講)	かながわ県民活動 サポートセンター
1月30日	かながわ県民活動サポ ートセンター	ボランティア活動施策推進会議助成 制度分科会	かながわ県民活動 サポートセンター

## 2 青少年健全育成事業

これまでの経験と知識を活かし、こども文化センター52館・わくわくプラザ101施設の適切な管理・運営に努めました。平成30年度の主な取組は次のとおりです。

### (1) こども文化センター事業

#### ア 基本方針

こども文化センターでは、子どもたちの安全確保を旨とし、子どもたちが安心して楽しく過ごせる居場所づくりに取り組みました。また、遊びや行事等にも工夫を凝らし、子どもたちが楽しく過ごせるよう努め、併せて、地域の活動拠点としての利用を促進しました。

#### こども文化センター利用状況推移表

利用者別	28年度 (52館)	29年度 (52館)	30年度 (52館)	前年度比較(増減)
乳幼児	310,189人	297,274人	308,506人	11,232人
小学生	707,812人	684,186人	680,606人	▲3,580人
中学生	208,828人	213,712人	176,792人	▲36,920人
高校生	41,996人	36,993人	32,624人	▲4,369人
成人	412,913人	400,816人	413,773人	12,957人
<b>利用者合計</b>	<b>1,681,738人</b>	<b>1,632,981人</b>	<b>1,612,301人</b>	<b>▲20,680人</b>
<b>(一館あたり)</b>	<b>(32,341人)</b>	<b>(31,403人)</b>	<b>(31,006人)</b>	<b>(▲397人)</b>
内団体利用人数	310,638人	294,601人	271,519人	▲23,082人

#### イ 安全・安心の確保

児童の安全・安心の確保は本事業の基本であり、職員一人ひとりがそのことを常に念頭に置いて日々の業務にあたるよう心がけるとともに、本部・各館が一丸となって事故ゼロ運動を推進するなど、各種安全対策について積極的に取り組みました。

##### (ア) 事故防止対策

こども文化センターでは、遊具等の安全確認と不具合箇所の整備を徹底するとともに、定期的に施設の内外の見回り等を実施し事故防止に努めました。また、利用児童が怪我を負った場合は「事故対応マニュアル」に基づいて、迅速かつ適切に対応しました。

##### (イ) 防犯対策

川崎市は平成29年度5月、防犯対策として各こども文化センターの外側に防犯カメラを設置しました。そのため、館ごとに「防犯カメラ運用マニュアル」を策定し、適正な管理運用を図りました。また、不審者等への対応については「不審者マニュアル」に基づいて、利用児童及び利用者の安全の確保に努めました。

## (ウ) 防災対策

災害に対する備えとして「災害時対応マニュアル」に基づいて、防災用品の点検や避難訓練を実施するとともに、災害伝言ダイヤルを活用した連絡手段を利用者に周知しました。

また、土砂災害警戒区域及び浸水想定区域内に設置されているこども文化センター、わくわくプラザでは、避難確保計画を作成しました。

## (エ) その他の安全対策

各館では、利用児童と共に地域の危険個所を確認しながら安全マップを作成し、館内に掲示することを通じて、子供たちの安全意識の高揚に努めました。

食物アレルギーへの対応については、次の基本ルールを遵守し、子どもたちのアレルギー事故防止に取り組みました。

施設名	対応策
こども文化センター	①当財団が単独で主催する行事等で食物を提供する場合は、事前申込制とし、アレルギーの確認については、児童ではなく、保護者にしていただくことを基本とする。 ②共催行事等で、食物を提供する場合は、上記ルールの適用を保護者や関係者の理解を得ながら進める。
わくわくプラザ 共	①アレルギーを持つ児童が差別されないよう、食物アレルギーについての啓発活動に努める。 ②児童がアナフィラキシーショックを起こした場合に備え、アドレナリン自己注射薬（エピペン）の投与等、応急処置ができるようにアレルギー研修の受講を職員に義務付ける。

## ウ 複数館による合同事業の開催

### (ア) 全市域合同事業の取組

#### ① ゴーゴー☆かわさキッズ ～マンカラ大会・子どもサミット～

マンカラ大会・子どもサミットは、平成30年12月8日（土）に中原市民館で開催しました。マンカラ大会の予選参加者（各館の計）は5,011名、子どもサミットの各施設での話し合い及び活動参加者（各館の計）は20,214名、当日のマンカラ本選参加者、サミット代表参加者及び応援参加者等の計は535名、合計25,760名の参加がありました。

マンカラ大会は、中原市民館の多目的ホールと体育室にて、実施しました。また、決勝進出が叶わなかった児童や、応援に参加した児童を対象に「交流広場」を設け、他施設の児童との交流やさまざまな遊びを体験できるようにしました。

子どもサミットでは、昨年度に引き続き、「ちいさっず役立ち隊～ありがとうの音が響く町～」をテーマに、これまで各施設で行った交流、美化、防犯・防災等の活動を代表児童が発表し意見交換をしました。「発表用フリップ」や「いいねシール」等を活用して活発な意見交換を行ったことにより、参加した子どもたちも達成感を味わうことができました。また、意見交換をとおして互いの良さを認め合う経験を積むことができました。今後は、実施した活動を地域に幅広く広報していく予定です。

#### ② ゴーゴー☆かわさキッズ ～BUNBUNステージ～

平成31年1月26日（土）に高津市民館で開催し、出演者・一般観覧児童・保護者、995名の参加がありました。

24団体（うち小学生・高校生バンド4団体）384名が出演し、創作ダンス、けん玉、

フラダンス、空手演武、バンド演奏等、様々な種目の発表がありました。今年度は、こども文化センターの利用児童（ハンドベル）と地域で活動されている成人団体（ギター・キーボード・フルート・オカリナ等）がコラボレーションした「ベルフレンズwithアンサンブルゆり」による発表もあり、こども文化センターで多世代・地域交流が進展している一面も見られました。

また、昨年度に引き続き、司会を希望した児童と職員が協働して行い、出演団体児童のインタビューや幕間のクイズの出題など、司会の職員との掛け合いを楽しみながら、大きな舞台での大役を務めました。

### **(イ) 区及びグループ単位の合同事業**

同一区内又はグループ内児童の親睦と交流の輪を広げることを目的として、各こども文化センターが様々な行事に取り組み、延べ7,332人が参加しました。

各事業名と参加者数については【29頁～31頁：別表5】に記載。

## **エ 乳幼児の子育て支援**

平成30年度は、延べ5,645団体（1館平均108団体）の乳幼児サークルの利用がありました。各館では、場の提供による支援に加え、館独自の乳幼児向け行事として「親子でダンス」「親子工作&パネルシアター」「赤ちゃんアートフォト体験」等を実施しました。また、関係諸団体の協力を得た行事として「赤ちゃんふれあい広場ホットホット」「離乳食講座」等を開催しました。さらに、地域子育て支援会議等に参加し、情報交換を行うと共に、地域の子育てネットワーク作りにも積極的に参画しました。

## **オ 中学生及び高校生の利用促進**

中学生・高校生の利用に際しては、主体的な活動の尊重・支援を基本とし対応しました。

また、異年齢交流行事として「演劇部による読み聞かせ」「スポーツ大会」等を実施し、交流を深めたほか、「階段アート」「進級たご焼きパーティー」「勉強カフェ」等、様々な工夫を凝らした行事に取り組み、利用の促進を図りました。

音楽室が設置されている南河原、宮崎及び白山こども文化センターについては、中学生・高校生のほか、地域音楽活動の拠点として延べ3,282団体・5,645人が音楽室を利用しました。各施設の利用状況については【32頁：別表6】に記載。

## **カ 不登校児への対応**

不登校児が来館した際に備え、より適切な対応ができるよう、専門研修を実施するなど、職員のスキルアップに取り組みました。また、不登校児の利用があった場合は、状況を把握し学校等関係機関と連携して対応しました。

## **キ 地域活動拠点としての利用推進**

こども文化センターは地域の児童の健全育成に寄与するという目的施設ですが、児童の利用が少ない時間帯については、地域のボランティアや市民活動団体等の方々の活動の拠点としての利用を進めるために、ホームページで空き室の状況を確認できるよう、利便性の向上を図りました。

平成30年度は、延べ19,449団体（1館平均374団体）の利用があり、会議や打合せのほか、絵手紙やフォークダンス、コーラス、語学学習といった趣味の活動の場としても利用されました。そうした利用者の一部の方には、子どもたちに卓球の指導や音楽鑑賞会、

乳幼児への読み聞かせ等、ボランティアとして様々なご協力をしていただきました。

### 団体利用状況

団体種別	28年度 (52館)	29年度 (52館)	30年度 (52館)	前年度比較 (増減)
青少年	4,490 団体	4,096 団体	2,943 団体	▲1,153 団体
市民活動	10,350 団体	10,421 団体	10,407 団体	▲14 団体
幼児G	5,960 団体	5,736 団体	5,645 団体	▲91 団体
その他	422 団体	407 団体	454 団体	47 団体
計	21,222 団体	20,660 団体	19,449 団体	▲1,211 団体

## ク 地域と一体となった事業運営の推進

### (ア) 運営協議会との連携強化

全てのこども文化センターでは、地域と連携した館運営を行うために、地域の方々が委員となった、運営協議会を設置しています。運営協議会では、こども文化センターの様々な課題について協議を行い、施設利用のルール作りや地域団体との橋渡しを担うとともに、行事等にも積極的に参画していただくなど、その役割は多岐にわたっています。平成30年度は、全市で279回（各館平均5回）の運営協議会が開催され、延べ2,932名の運営委員の方に参加していただきました。各館では、運営協議会の委員の方々に、多くのご支援・ご協力をいただき、「地域ふれあいのたび～Halloweenを楽しもう」「ながお菜園～農業&食育体験～さつまいもパーティー」「焼き焼き！棒パンをつくろう！」「はじめてのお茶会」等の特色ある行事を開催しました。

また、区ごとに各館の運営協議会代表者が参加する「区運営協議会」を開催しました。平成30年度は、全区で11回開催され、延べ78人の委員の方が参加し、各館で取り組んでいる行事の計画・報告や各館共通の課題等について協議していただきました。

各館の運営協議会及び区運営協議会で出された意見や結論を集約し、行事日程や事業内容の確認・調整など、こども文化センターの運営に活かしました。

### (イ) 地域関係機関・関係団体との連携の強化

こども文化センターの円滑な事業運営に資するために、生涯学習推進会議、地域教育会議の会議に出席し、地域情報を得るとともに、こども文化センターの情報を提供するなど、情報の共有を図りました。

また、区役所（保健福祉センター・地域みまもり支援センター等）、地域団体（子ども会等）が実施する行事に積極的に参加し、地域関係機関等との連携強化に努めました。

主催者	開催日	内容（総数）	参加数	開催場所
川崎区	9月8日	かわさき区子育てフェスタ（1,471人）	800人	教育文化会館
幸区	2月23日	みんなで子育てフェアさいわい（866人）	250人	幸市民館

中原区	11月23日	なかはら子ども未来フェスタ(4,500人)	1,000人	中原区役所
高津区	8月26日	高津区子どもフェア(1,500人)	123人	新二子橋下周辺
	11月17日	子ども・子育てフェスタ(2,100人)	283人	高津市民館
宮前区	10月27日	みやまえ子育てフェスタ2018(1,100人)	324人	宮前市民館
多摩区	9月17日	たまたま子育てまつり(4500人)	835人	多摩区役所
麻生区	9月15日	あさお子育てフェスタ(2500人)	504人	麻生区役所

※参加数は、各こ文から引率参加した児童数及び出店したブース等に参加した児童数の合計です。

## (2) わくわくプラザ事業

### ア 基本方針

わくわくプラザは、すべての小学生を対象としています。そのため、日頃から小学校との連携を密にして、子どもたちの様子や学校の月間スケジュール、わくわくプラザの行事日程等の情報交換を行っています。子どもたちが、放課後・土曜・長期休業日等に安心して楽しく過ごすことのできる、また、保護者が安心して子どもを託すことができる事業運営に努めました。

#### わくわくプラザ利用状況(101校)年間利用状況推移表

在校児童数	28年度	29年度	30年度	前年度比較(増減)
在校児童数	64,314人	64,989人	65,731人	742人
登録児童数	30,648人 (877人)	31,507人 (937人)	31,934人 (1,049人)	427人 (112人)
登録率	47.7%	48.5%	48.6%	0.1%
利用人数	1,854,991人 (80,497人)	1,993,858人 (84,297人)	2,132,105人 (98,509人)	138,247人 (14,212人)
1日平均利用者数	6,374人 (276人)	6,805人 (288人)	7,302人 (337人)	497人 (49人)

※( )内は特別な支援を必要とする児童の内数

※今期より、在校児童数・登録児童数・登録率について、算出方法を川崎市と合せたため、28年度及び29年度の数値を変更しました。

### イ 安全・安心の確保

児童の安全・安心の確保は本事業の基本であり、職員一人ひとりがそのことを常に念頭に置いて日々の業務にあたるよう心がけています。また、事故ゼロ運動を推進するなど、本部・各館一丸となって事故防止に取り組みました。

#### (ア) 事故防止対策

わくわくプラザでは、遊具の安全確認と不具合箇所の整備を徹底するとともに、児童全体を見守れるようなスタッフ配置を行っています。また、児童用ビブスやトランシーバー等の活用、外遊び前には準備体操を行うなど、事故防止対策に努めました。利用児童が怪我を負

った場合は「事故対応マニュアル」に基づいて、迅速かつ適切な対応を図れるようにしました。さらに、夏休み等の長期休校期間中の朝に、短時間で外遊びや室内遊び等を工夫して取り入れる「わくドキタイム」を実施し、子どもたちが落ち着いて過ごせる環境を整えました。

### (イ) 防犯対策

防犯については、訪問者の目的や様子を把握するため、職員からあいさつを行うなど、不審者の侵入を抑制しました。学校門が開錠されている土曜日、長期休校期間及び子育て支援・わくわくプラザ実施時間には、プラザ室玄関を施錠し、迎えに来た保護者の確認を行うなどの対応をしました。また、不審者情報については、神奈川県警察の「ピーガルくん・こども安全メール」を利用し、各わくわくプラザの職員が適切な対応がとれるようにするとともに、子どもの安全に関する様々な情報や指示を、適宜、本部から各こども文化センターを経由してわくわくプラザに伝達し、事件・事故の予防、安全・安心の確保に努めました。

### (ウ) 防災対策

災害に対する備えとして「災害時対応マニュアル」に基づいて、災害に関する地域情報の把握、防災用品の確認や避難訓練等を実施しました。学校と災害時対応マニュアルの確認を行うとともに、保護者に対しても、災害時等の対応や連絡、引き取り方法等を周知しました。また、災害伝言ダイヤルを活用した連絡手段についても利用者に周知しました。

### (エ) その他の安全対策

利用児童及び保護者に安全への意識を促すため、児童と共に地域の危険箇所を確認し、安全マップを作成・掲示しました。

食物アレルギーへの対応については、次の基本ルールを策定し、子どもたちのアレルギー事故防止に取り組みました。

施設名	対応策
わくわくプラザ	①わくわくプラザ登録時にアレルギーを持つ子どもの保護者に「食物アレルギー調査票」の提出をお願いし、さらにおやつ申込時に、原材料名（成分表）が記載されたメニュー表をもとに、保護者にアレルギーチェックをお願いする。 ②子どもにおやつを配布するときには、必ず複数の職員が「食物アレルギー調査票」に基づきチェックします。アレルギーとなる成分が入っているおやつについては、当該児童の保護者に手渡す。このとき、おやつが食べられなかった児童には、十分な説明をする。
こども文化センター 共 通	①アレルギーを持つ児童が差別されないよう、食物アレルギーについての啓発活動に努める。 ②児童がアナフィラキシーショックを起こした場合に備え、アドレナリン自己注射薬（エピペン）の投与等、応急処置ができるようにアレルギー研修の受講を職員に義務付ける。

### ウ 特別な支援を必要とする児童等への対応

平成30年度のわくわくプラザにおける、特別な支援を必要とする児童登録数は1,049人でした。特別な支援を必要とする児童に対し、より適切な対応が行えるよう、元特別支援学校の教諭や小学校の校長経験者等の巡回相談員を7人配置しました。巡回相談員は、豊かな経験と専門知識を持ち、当該業務に従事するスタッフのアドバイザーとして、またスタッフ研修の講師として活躍しています。

また、学校との日頃からの連携・情報の共有に努めるとともに、発達相談支援センター・

児童相談所・地域療育センター等の関係諸機関との連携強化にも取り組みました。

## エ わくわくプラザ学習タイムの実施

子どもたちの学習習慣の形成を図るため、引き続きボランティアや臨時職員からなる専任アドバイザーを配置し、落ち着いて自学・自習ができる時間と場所を確保して、学習タイムを実施しました。

## オ わくわくプラザ事業開設時間拡充への対応

川崎市は、平成29年度より長期休業期間の平日におけるわくわくプラザの開室時間を従来の8時30分から8時に拡充するモデル事業を開始しました。当財団では、この業務を川崎市から受託し、夏季休業期間には、8施設、冬季休業期間以降は全101施設のわくわくプラザにおいて実施しました。

## カ 子育て支援・わくわくプラザ事業への対応

「子育て支援・わくわくプラザ事業」とは、川崎市が実施している事業で、就労等により、わくわくプラザの門限である午後6時までに児童の迎えが難しい保護者のため、午後7時までわくわくプラザを延長するサービスのことです。当財団は、この業務を川崎市から受託し、全わくわくプラザで実施しました。

### 利用状況

種 別	28年度	29年度	30年度	前年度比較 (増減)
登録児童数	2,362人 (63人)	2,528人 (63人)	2,601人 (67人)	73人 (4人)
延べ利用人数	128,190人 (3,887人)	137,561人 (3,241人)	140,576人 (3,752人)	3,015人 (511人)
1日平均利用人数	536人 (16人)	564人 (13人)	576人 (15人)	12人 (2人)

※（ ）内は特別な支援を必要とする児童の内数

※今期より、登録児童数について、算出方法を川崎市と合せたため、28年度及び29年度の数値を変更しました。

## (3) 地域子育て支援センター（連携型）事業

「地域子育て支援センター（連携型）」とは、川崎市が実施している地域子育て支援事業の一つで、比較的利用の少ない午前中のこども文化センターを利用し、子育て中の親子の交流の場や子育てに関する相談・援助の場として、また、地域の子育て情報の提供の場として設置されています。当財団は、この業務を今年度、8ヶ所で受託し、「ふぁみいゆ」という名称で週3日（9：30～12：30）開設しました。

平成30年度は、延べ32,289人の乳幼児親子が利用しました。各施設の利用者数については【33頁：別表7】に記載。

## (4) 小杉地区子ども・子育て支援推進事業

小杉地区の再開発に伴い、小杉こども文化センターが休止となったことにより、川崎市は、子ども・子育て世代が増加している小杉地区において、子どもが安心して安全に過ごすことのできる居場所として、また、小杉こども文化センターの代替的機能を持つ施設として「小杉地区子ども・子育て支援推進事業（愛称 小杉っこスペース）」を設置しました。当財団では、こ

の業務を受託し、平成28年6月より運営を開始しました。また、平成29年10月よりプレハブ2階建て（総合自治会館隣）の施設に移転しました。

### 利用状況

利用者別	28年度(6月～3月)	29年度(4月～3月)	30年度(4月～3月)	前年度比較(増減)
乳 幼 児	1,255人	2,967人	4,250人	1,283人
小 学 生	1,278人	3,151人	5,854人	2,703人
中 学 生	33人	780人	1,369人	589人
高 校 生	3人	26人	152人	126人
成 人	1,260人	3,068人	4,288人	1,220人
<b>利用者合計</b>	<b>3,829人</b>	<b>9,992人</b>	<b>15,913人</b>	<b>5,921人</b>
内団体利用人数	0人	0人	0人	0人

## (5) 各事業共通事項

### ア 多世代連携について

川崎市は平成27年度から、多世代の交流を目的としたこども文化センター・いこいの家（高齢者の心身の健康増進を図ることを目的とした施設）の連携モデル事業を一部の施設で開始し、平成30年度には、すべての「いこいの家」と「こども文化センター」がモデル事業の対象となりました。

各施設では、「いこいの家まつり出演」「将棋教室」「おじいちゃんおばあちゃんに歌と絵手紙をとどけよう」等の事業を実施し、こども文化センター利用者といこいの家利用者の交流を図りました。

また、いこいの家以外の施設とも、多世代連携を目的とした事業展開を図り、「人生の先輩と交流しよう」「子どもたちの笑顔と野菜を届けよう」「おだかの郷にリースを届けよう」等を実施しました。

## イ 子ども運営会議等の活動促進

### (ア) こども文化センター

こども文化センターには、子どもたちの自主性を尊重し、行事等で子どもたちの意見を反映させるための機関として、利用児童で組織する「子ども運営会議」が設置されています。

平成30年度は延べ662回（各館平均13回）開催され、延べ5,000人（各館平均96人）の参加がありました。「子どもリーダー発案！型どりプラバン」や「まるるんのゲームパーティー」「いらすとコンテスト」等、様々な行事が子どもたちの企画・運営により実施されました。

### (イ) わくわくプラザ

わくわくプラザにも、こども文化センターと同様の趣旨で「子ども運営会議」が設置されています。平成30年度は、延べ1,334回（各わくわくプラザ平均13回）開催され、合計52,295人（各わくわくプラザ平均513人）の参加があり、「新入生歓迎会」「わくわくゲームラリー」「巨大迷路プロジェクト2018」等、様々な行事が子どもたちの企画・運営により実施されました。

## ウ 体験学習の拡充

こども文化センターやわくわくプラザでは、子どもたちの豊かな人間形成をめざして、

様々な体験学習を積極的に取り入れています。特にこども文化センターでは「乳幼児と中学生・高校生のふれあい事業」を推進しています。この事業は、中学生・高校生の体験はもちろんのこと、異年齢交流の側面もあわせており、乳幼児と直接ふれあった中学生・高校生だけでなく、保護者からも好評を得ました。

この他にも、市民活動団体や地域の方々に協力いただき「地域の環境美化」「科学実験教室」「コーディネーショントレーニング※」「農業体験」「外国語体験」「多文化体験」「和太鼓体験」等を企画・実施しました。

※コーディネーショントレーニングは、子どもの運動能力を伸ばすトレーニングです。

## エ ボランティア等との協働推進

こども文化センターやわくわくプラザでは、地域の様々な特技・知識等を持つ方々にボランティア講師となっただき、地域の子どもと大人が共に遊び、育み合うことができるよう環境をつくるために、様々な事業を実施しました。

平成30年度は「だじゃれの時間」「親子ヨガ」「ベビーマッサージ」「ハンドベルコンサート」「けん玉教室」「洗濯あそび」「剣術体験」等を開催・実演していただき、ボランティアと子どもたちの交流の場を提供しました。

## オ 環境整備の推進

老朽化が進んでいるこども文化センターの中には建替え又は大規模修繕が必要なものがいくつかあります。今後、こうした施設の取扱いについて市との協議を進めるため、平成30年度は、施設整備状況確認調査を実施し、施設状況の把握に取り組みました。

### (ア) 大規模修繕

30万円以上の施設・設備の修繕については、所有者である川崎市が行うこととなりますが、安全・安心の確保や環境整備の観点から緊急度が高い場合については、市と協議のうえ、指定管理者が行っています。平成30年度は、当財団による大規模修繕に該当する補修・改修工事はありませんでした。

### (イ) 小規模修繕・軽工事

30万円未満の施設・設備・用具等の修繕については、指定管理者が行うこととなります。施設や用具等の安全管理については、日ごろから点検を欠かさず、破損や故障を発見した場合は、迅速に対応することが必要です。

平成30年度は、川崎市と連携し、全施設の非常用照明の修繕を一斉に実施しました。また、蛍光灯安定器の経年劣化が進んでいる施設が多く、LED蛍光灯への改修工事を進める等、合計82箇所（総額5,809,084円）の補修・改修の工事を実施しました。

簡易的な補修や書棚、遊具棚等の製作においては、昨年までと同様に、現場を熟知している元学校業務職の方々にご協力をいただき、迅速な対応を図りました。

また、集会室等、エアコンの必要性について、川崎市と共有するため室温調査を実施するなど、将来的な環境整備にも取り組みました。

### (ウ) 蔵書の充実

読書は、子どもたちが豊かな人間性を育む上で欠かすことのできないものです。感受性豊かな時期に多くの本と接することは、その後の人生を生きていく大きな力になります。乳幼児のための絵本をはじめ、小学生から高校生まで幅広い年齢層に対応した蔵書の充実を図り、青少年の読書力の向上、読書習慣の形成を促進しています。平成30年度は、図書購入費を

各こども文化センター及び小杉っこスペースに10万円、各わくわくプラザに5万円を配当し、合計10,350,000円を別途配当しました。さらに、下半期には、わくわくプラザに、5万円を追加配当しました。

また、幸区役所の予算で幸区内の各こども文化センターに7千円分の本を提供していただき、読み聞かせなどに活用しました。

## カ 教育実習・インターンシップへの対応

法人の社会貢献の一つとして、教育実習生、職業体験、まち探検、ボランティアなど、延べ3,173人を受け入れました。また、社会体験研修として教諭2人を受け入れました。

施設ごとの受入状況については【34頁～37頁:別表8】に記載。

## キ 情報発信の取組強化

### (ア) ホームページの活用

行事の開催・活動内容・団体への部屋の貸し出し状況等、施設に関する最新の情報を提供できるよう、定期的に掲載内容を更新しました。

### (イ) かわさき子育てアプリの活用

行事の開催情報を定期的に更新し、子育て情報の周知向上を図りました。

※かわさき子育てアプリは、川崎市内の子育てに係る情報を配信するアプリケーション(ソフトウェア)です。

### (ウ) 地域メディアの活用

「かわさきFM」で、こども文化センター事業の事前告知や当日の様子を放送することで、こども文化センターの周知や広報を行いました。

今年度4月～9月まで、毎月第1火曜日に放送されている『セレクトかわさき』に、館長が出演し、こども文化センター事業や行事等について周知しました。

また、5月より、毎月第4月曜日に放送されている『まちかどからお届け』において、アナウンサーが、こども文化センターを訪問し、児童や活動の様子が、生放送の対話形式により伝えられました。

## ク 効果的な研修計画の策定・実施

青少年健全育成事業のサービス向上には、職員の資質向上が欠かせません。勤務経験や職位に応じた各種研修を計画的に実施するとともに、神奈川県や川崎市等、他の団体が主催で行う研修にも積極的に参加し、職員のスキルアップや資格の取得を進めました。

今年度は、財団主催の職員研修として、聖マリアンナ医科大学病院小児科教授を講師に迎えた「てんかんの正しい理解と発作時の対応について」や、わくわくプラザの規模に応じて担当者を分けた「わくわくプラザ担当研修」、館長を対象とした「コーチング研修」を実施し、職員・臨時職員の能力を最大限発揮できるようスキルの向上を図りました。

「新任館長・職員研修」では、適切に業務に従事するための基礎知識を身につけることを目的に、年間を通じて実施しました。区、グループ、館ごとに、地域性を重視した研修を実施するとともに、各館に職員ごとの研修受講名簿を備え、全職員が必要となる研修を効率・効果的に受講できるよう心がけました。

各研修と受講者数については【38頁～42頁:別表9】に記載。

## ケ 子どもの変化の気づきについて

いじめや虐待、不登校等、子どもを取り巻く社会問題は多様化・複雑化が進んでおり、痛ましい事件も後を絶ちません。川崎市からも、虐待の疑いなどの気づきがあった場合は組織的な対応をし、複数の機関で見守る体制を整えることが求められています。

当財団では、虐待が疑われる児童の報告フローや、早期発見のチェックリストを活用し、被虐待児の把握に努め、川崎市へ報告する体制を整えるとともに、各区要保護児童対策地域協議会に代表館長が出席し、情報共有に努めました。

また、昨年度に引き続き、できるだけ多くの小・中・高校生に「いのちの大切さ」を体験学習してもらうために「乳幼児とのふれあい事業」や「命の大切さを伝える読み聞かせ事業」を拡充しました。

## コ 事故報告

### (ア) こども文化センターでの事故について

こども文化センターで起きた26件の事故のうち、18件は集会室での事故となっています。集会室での事故を防止するためにも、集会室を利用する児童には、準備運動を促すとともに、職員の定期的な見守りと声かけを強化し、事故減少に努めました。

事故が発生した際には、初期対応を迅速に行い、応急手当や保護者への連絡等、マニュアルを基本に適切に対応しました。また、幼児の利用についても、保護者の方に目を離さないよう声掛けや掲示を行いました。

#### 過去5年間のこども文化センターにおける事故の件数

月	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
4月	3 (1)人	2 (0)人	1 (1)人	2 (1)人	2 (0)人
5月	1 (0)人	2 (1)人	1 (0)人	2 (1)人	3 (1)人
6月	2 (1)人	1 (0)人	3 (1)人	1 (0)人	4 (2)人
7月	1 (0)人	1 (0)人	2 (1)人	3 (1)人	1 (0)人
8月	2 (1)人	6 (3)人	1 (1)人	1 (1)人	3 (1)人
9月	0 (0)人	2 (1)人	2 (1)人	2 (0)人	2 (1)人
10月	1 (0)人	3 (2)人	2 (0)人	3 (1)人	2 (0)人
11月	2 (0)人	1 (0)人	4 (0)人	1 (1)人	4 (1)人
12月	3 (0)人	0 (0)人	2 (1)人	3 (1)人	2 (1)人
1月	0 (0)人	0 (0)人	3 (3)人	0 (0)人	1 (1)人
2月	3 (1)人	4 (1)人	3 (2)人	5 (5)人	2 (0)人
3月	0 (0)人	2 (1)人	1 (1)人	5 (1)人	0 (0)人
計	18 (4)人	24 (9)人	25 (12)人	28 (13)人	26 (8)人

\* ( ) は4日以上通院の事故内数(平成31年3月31日現在)

### (イ) わくわくプラザでの事故について

わくわくプラザにおける事故件数は138件となっています。発生率の高い怪我としては、擦傷・打撲52件、捻挫・突き指33件、骨折(ヒビ含む)28件が挙げられます。

事故を未然に防ぐために、日頃から安全点検を行い、環境整備に努める等、常に安全に配慮するとともに、校庭等での外遊びでは、トランシーバーを活用し、スタッフ間の連携を図

るとともに、児童にはビブスを着用させる等、見守り体制を強化して、事故ゼロを目指しました。さらに、館長会議や各施設の会議にて、事例検討会等による類似事故の防止対策の検討や事故情報の共有を行うとともに、適切な見守り配置の再確認、子どもたちへの声掛けの強化、準備運動の徹底等、様々な取組みを定期的に見直し、再発防止に繋げました。

また、事故が発生した際は「事故対応マニュアル」等に沿って対応しました。応急手当、保護者への連絡等、適切な初期対応を実施するとともに、複数のスタッフで事故の状況を確認することを徹底しました。特に首から上の怪我への対応の重要性について、臨時職員を含む全職員が認識し、救急車搬送を基本とした対応について周知徹底しました。

#### 過去5年間のわくわくプラザにおける事故の件数

月	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
4月	17 (8)人	9 (0)人	12 (6)人	14 (3)人	21 (5)人
5月	15 (3)人	13 (2)人	16 (3)人	20 (3)人	14 (2)人
6月	13 (1)人	11 (7)人	11 (6)人	14 (6)人	15 (4)人
7月	16 (3)人	9 (1)人	13 (6)人	17 (4)人	11 (2)人
8月	7 (0)人	13 (5)人	4 (0)人	15 (5)人	8 (1)人
9月	10 (5)人	10 (3)人	12 (1)人	5 (0)人	4 (2)人
10月	14 (5)人	10 (2)人	17 (4)人	7 (3)人	9 (3)人
11月	8 (1)人	10 (4)人	14 (2)人	17 (5)人	16 (6)人
12月	13 (3)人	10 (2)人	19 (2)人	17 (4)人	10 (0)人
1月	7 (2)人	12 (4)人	6 (1)人	7 (3)人	12 (2)人
2月	8 (2)人	11 (5)人	8 (0)人	10 (1)人	9 (0)人
3月	18 (5)人	10 (3)人	11 (2)人	11 (0)人	9 (0)人
計	146 (38)人	128 (38)人	143 (33)人	154 (37)人	138 (27)人

\* ( ) は4日以上通院の事故内数(平成31年3月31日現在)

#### (ウ) その他の場所での事故について

平成30年度のわくわくプラザの登下校時の事故は23件でした。

わくわくプラザ登下校中の事故が増加傾向にあるため、児童が退室する際は、気を付けるよう注意喚起するとともに、一人帰りの児童の保護者へ対し、帰宅時間や経路について、児童と一緒に検討していただくよう、迎え時やたよりを通して働きかけました。

#### サ その他

##### (ア) 次期指定管理応募について

第3期指定管理者の指定期間が平成31年3月に満了になることから、第4期(平成31年4月から)の指定管理者の募集に対し応募を行い、その結果、応募した20グループ全てのこども文化センターの指定管理者に選定されました。

また、平成31年4月に新設される小杉小学校わくわくプラザの開設に向けて、川崎市から小杉小学校わくわくプラザ事業開設準備委託業務を受託し、臨時職員の募集、消耗品や備品の購入、児童の利用受付業務などを行いました。

【別表5】区及びグループ単位の合同事業一覧

① 区単位の合同事業

区	開催日	内 容	参加数	開 催 場 所
川崎区 9 館	8月7日	舞台鑑賞会 マジックショー	249人	教育文化会館 大会議室
	11月10日	合同 「スマイルフェスタ2018～ドキドキわくわくゲームランド～」	325人	富士見中 小学校館
幸区 6 館	7月30日	舞台鑑賞会 マジックファンタジア	175人	幸大市民 館室
	9月8日	合同事業 夢と希望のまち・2018 ～さいわい区幸福町～	222人	小倉小 小学校館
中原区 9 館	8月8日	舞台鑑賞会 マジックショー ※台風接近のため当日中止	0人	川崎市総合福祉センター (エポックなかはら)
	12月1日	合同事業 なかはら☆スーパーキッズ大作戦	177人	上丸子小 小学校館
高津区 7 館	9月15日	合同事業 こぼりんピック ～めざせヒーロー！～	201人	高津小 小学校館
	8月1日	舞台鑑賞会 アンディ先生のマジック& イリュージョンショー！	524人	高津市 民館ル
宮前区 6 館	6月21日	合同事業 ドッジビー大会 ～みやりんピック シーズン9～	178人	宮前スポーツセンター
	7月30日	舞台鑑賞会 マジシャントミーのマジックショー	525人	川崎市総合福祉センター (エポックなかはら)
多摩区 7 館	7月24日	舞台鑑賞会 アンディ先生のマジックショー	171人	多摩市 民館室
	9月29日	合同事業 リアル脱出ゲーム～こぶんたからの挑戦状～	170人	中野島小 学校校庭・アリーナ
麻生区 8 館	9月29日	合同事業 麻生キッズ海賊団 2018～冒険の海～	314人	王禅寺ふるさと公園
	2月9日	舞台鑑賞会 劇団風の子九州「いまからいえでにいきます」	156人	麻生小 小学校館

② グループ単位の合同事業

グループ	開催日	内 容	参加数	開 催 場 所
川崎区 第1G	11月24日～ 11月25日	野外活動事業 3館GODOキャンプ2018	40人	川崎市青少年の家
	12月25日	芸術鑑賞会 ふれあいコンサート	134人	ふれあいプラザ川崎 2階ホール
	12月26日	カローリング大会	62人	向小 小学校体育館
川崎区 第2G	12月22日	南大師中学校吹奏楽部クリスマスコンサート	114人	大師小 小学校館
	1月19日	カローリング大会	54人	川中島小 小学校館
川崎区 第3G	7月24日	第5回わくわくマンカラ大会 ※猛暑により熱中症指数が高かったため中止	0人	小田小 小学校館
	8月24日	サマーコンサート	104人	神奈川県立川崎高等学校 視聴覚ホール
川崎区 第3G	12月26日	わくりんびっく 2018	113人	小田小 小学校館
幸区 第1G	11月10日	ぼうさいわい2018	48人	戸手小 学校体育館 及び アスファルト部分

グループ	開催日	内 容	参加数	開催場所
幸 区 第 1 G	12月25日	わくわくプラザ対抗ドッジボール大会	139人	戸 手 小 学 校 館 体 育
	2月9日	はっぴーらいぶ・2019	88人	南 河 原 こ ど も 文 化 セ ン タ ー
幸 区 第 2 G	8月10日	トリプルハッピーフィールド 干潟で遊ぼう!	53人	大師河原水防センター
	9月19日	トリプルハッピー♪ドッジボール大会	90人	小 倉 小 学 校 館 体 育
	12月26日	ふれあいコンサート	73人	橘 高 等 学 校 第 2 ア リ ー ナ
	2月16日	トリプルハッピー!!昔遊び DE ふれあいフェス	44人	南 加 瀬 こ ど も 文 化 セ ン タ ー
中 原 区 第 1・2G	10月9日	マンカラ交流戦	53人	住 吉 こ ど も 文 化 セ ン タ ー
	12月26日	橘高校吹奏楽部コンサート	211人	橘 ア リ ー ナ 校
	1月7日	新春むかしあそびゲームラリー	73人	住 吉 小 学 校 館 体 育
中 原 区 第 3 G	11月18日	マンカラ交流戦	42人	玉 川 こ ど も 文 化 セ ン タ ー
	12月27日	なかよしカップ～こ文対抗運動会～	89人	平 間 小 学 校 館 体 育
中 原 区 第 4 G	7月17日	野外活動 林試の森へ行こう	56人	林 試 の 森
	10月30日	乳幼児と高校生のふれあい交流会	34人	新 城 こ ど も 文 化 セ ン タ ー
	12月27日	わくわく交流会	124人	大 戸 小 学 校 館 体 育
高 津 区 第 1 G	7月7日	七夕杯 ドッジボール大会	137人	下 作 延 小 学 校 館 体 育
	8月7日	カップスタックス&ジャグリングショー	76人	上 作 延 こども文化センター
	10月20日～ 10月21日	野外活動 帰ってきたモグラレンジャー	37人	黒 川 青 少 年 野 外 活 動 セ ン タ ー
	12月22日	乳幼児とのふれあい交流会 「みんなであそぼう♪」	42人	高 津 こ ど も 文 化 セ ン タ ー
高 津 区 第 2 G	6月16日	二ヶ領用水クリーン大作戦	35人	二ヶ領用水 沿い
	9月23日～ 9月24日	野外活動オータムキャンプ 2018	27人	三ツ沢公園 青 少 年 野 外 活 動 セ ン タ ー
	10月9日	3わく合同 わくりんピック	68人	東 高 津 小 学 校 館 体 育
	12月26日	ふれあい囲碁	29人	東 高 津 こ ど も 文 化 セ ン タ ー
	1月19日	二ヶ領用水クリーン大作戦	36人	二ヶ領用水 沿い

グループ	開催日	内 容	参加数	開催場所
高津区 第3G	10月8日～ 10月9日	野外活動 ともだち倍増計画秋のキャンプ2018	58人	青少年の家
	12月22日	ともだち倍増計画科学館にいこう2018	54人	科学技術館
	1月12日	ともだち倍増計画ドッジボール大会2019	66人	末長小 学校館
宮前区 第1G	9月15日～ 9月16日	野外活動「Hey! Say! CAMP☆2018」 買って、つくって、思い出キャンプ♪	51人	青少年の家
	11月17日	オータムコンサート・絵本の読み聞かせ	78人	有馬こども 文化センター
	2月2日	防犯スポーツプロジェクト	84人	宮崎小 学校館
宮前区 第2G	9月30日	ら・ら・らふれんど 品川水族館に行こう!	77人	品川水族館
	11月11日	ら・ら・らふれんど デイキャンプ2018	57人	くろがね青少 年野外活動センター
	1月4日	ら・ら・らふれんど 新春運動会	64人	平小 学校館
	2月23日	ら・ら・らふれんど ポッピングパーティー	60人	平こども 文化センター
多摩区 第1G	7月14日	防災炊き出し宿泊体験	39人	長尾こども 文化センター
	1月7日	スポーツスタッキング☆チャンピオンシップ	31人	長尾こども 文化センター
	2月23日	ドッジボール☆チャンピオンシップ	31人	稲田小 学校館
多摩区 第2G	6月16日	ホテルの国 de ナイトハイク♪	45人	生田緑地
	7月21日	めざせキャンプマスター!	43人	黒川青少 年野外活動センター
	11月17日	スペースアドベンチャー ～集まれ! 惑星探検隊!～	44人	生田小 学校館
多摩区 第3G	6月23日	巨大迷路出現! ミッションクリアで名探偵!	60人	中野島小 学校ナ
	8月1日	ゴーゴーたまリンピック! マンカラ大会!	55人	西菅小 学校館
	11月17日	地域ふれあいステージ	264人	西菅小 学校館
麻生区 第1G	8月20日	Let's☆チャレカラカップ!! 2018 ～マンカラ交流戦&流しそうめん～	95人	百合丘こども 文化センター
	10月20日	戦闘中! ボールバトルゲーム&カレー大作戦 2018	94人	百合丘こども文化センター・ 百合丘第三公園
麻生区 第2G	6月10日	Oh!! カーニバル! 巨大迷路で忍者修行!	106人	王禅寺中央小 学校館
	8月17日	おばあちゃんと作って食べよう昼ご飯! 2018	17人	王い禅寺の 老い人家
	11月24日	Oh!カーニバル!おかにーの運動会♪	47人	王禅寺中央小 学校館

【別表6】音楽室の利用状況

施設名	利用者	28年度	29年度	30年度	前年度比較 (増減)
南河原	小学生	391人	537人	519人	▲18人
	中学生	293人	393人	197人	▲196人
	高校生	671人	237人	410人	173人
	一般	626人	461人	531人	70人
	合計	1,981人	1,628人	<b>1,657人</b>	<b>29人</b>
	団体数	871団体	663団体	<b>703団体</b>	<b>40団体</b>
宮崎	小学生	31人	81人	44人	▲37人
	中学生	36人	24人	60人	36人
	高校生	469人	813人	836人	23人
	一般	780人	996人	1,242人	246人
	合計	1,316人	1,914人	<b>2,182人</b>	<b>268人</b>
	団体数	929団体	1,256団体	<b>1,402団体</b>	<b>146団体</b>
白山	小学生	6人	11人	20人	9人
	中学生	82人	80人	52人	▲28人
	高校生	706人	642人	508人	▲134人
	一般	1,152人	1,312人	1,227人	▲85人
	合計	1,946人	2,045人	<b>1,807人</b>	<b>▲238人</b>
	団体数	1,150団体	1,266団体	<b>1,177団体</b>	<b>▲89団体</b>
計	小学生	428人	629人	583人	▲46人
	中学生	411人	497人	309人	▲188人
	高校生	1,846人	1,692人	1,754人	62人
	一般	2,558人	2,769人	3,000人	231人
	合計	<b>5,243人</b>	<b>5,587人</b>	<b>5,646人</b>	<b>59人</b>
	団体数	<b>2,950団体</b>	<b>3,185団体</b>	<b>3,282団体</b>	<b>97団体</b>

【別表7】地域子育て支援センター（連携型）事業 利用状況

区	施設名	年 度	28年度 (10施設)	29年度 (9施設)	30年度 (8施設)	前年度比較 (増減)
川崎区	ふあみいゆ 殿 町	児童	2,102人	1,876人	2,120人	244人
		成人	1,641人	1,571人	1,675人	104人
		合計人数	<b>3,743人</b>	<b>3,447人</b>	<b>3,795人</b>	<b>348人</b>
	ふあみいゆ 田 島	児童	2,450人	1,989人	1,666人	▲323人
		成人	2,301人	1,691人	1,421人	▲270人
		合計人数	<b>4,751人</b>	<b>3,680人</b>	<b>3,087人</b>	<b>▲593人</b>
	ふあみいゆ 浅 田	児童	2,886人	2,762人	2,255人	▲507人
		成人	2,263人	2,169人	1,789人	▲380人
		合計人数	<b>5,149人</b>	<b>4,931人</b>	<b>4,044人</b>	<b>▲887人</b>
幸区	ふあみいゆ 南 河 原	児童	3,252人	3,169人	2,751人	▲418人
		成人	3,051人	3,040人	2,587人	▲453人
		合計人数	<b>6,303人</b>	<b>6,209人</b>	<b>5,338人</b>	<b>▲871人</b>
	ふあみいゆ 幸	児童	2,920人	2,950人		
		成人	2,743人	2,710人		
		合計人数	<b>5,663人</b>	<b>5,660人</b>		
	ふあみいゆ 小 倉	児童	3,359人	3,529人	2,633人	▲896人
		成人	2,846人	2,945人	2,295人	▲650人
		合計人数	<b>6,205人</b>	<b>6,474人</b>	<b>4,928人</b>	<b>▲1,546人</b>
中原区	ふあみいゆ 新 丸 子	児童	4,348人			
		成人	4,032人			
		合計人数	<b>8,380人</b>			
	ふあみいゆ 平 間	児童	2,730人	2,651人	2,058人	▲593人
		成人	2,532人	2,388人	1,962人	▲426人
		合計人数	<b>5,262人</b>	<b>5,039人</b>	<b>4,020人</b>	<b>▲1,019人</b>
麻生区	ふあみいゆ 千代ヶ丘	児童	2,879人	2,318人	2,464人	146人
		成人	2,521人	2,173人	2,236人	63人
		合計人数	<b>5,400人</b>	<b>4,491人</b>	<b>4,700人</b>	<b>209人</b>
	ふあみいゆ 柿 生	児童	1,413人	1,407人	1,213人	▲194人
		成人	1,391人	1,351人	1,164人	▲187人
		合計人数	<b>2,804人</b>	<b>2,758人</b>	<b>2,377人</b>	<b>▲381人</b>
合 計	児童	28,339人	22,651人	17,160人	▲5,491人	
	成人	25,321人	20,038人	15,129人	▲4,909人	
	合計人数	<b>53,660人</b>	<b>42,689人</b>	<b>32,289人</b>	<b>▲10,400人</b>	

※平成30年度よりふあみいゆ幸が他団体の運営となり、8館受託になりました。平成29年度の利用状況から、ふあみいゆ幸を差し引いて平成30年度と比較した場合、合計人数は4,740人減となりました。

【別表8】教育実習等の受入状況

①児童館教育実習生の受入状況

依頼学校名	人数	実習場所	実習期間
草苑保育専門学校	4人	新城こども文化センター	11日
		幸こども文化センター	
		二子こども文化センター	
		中野島こども文化センター	
昭和女子大学	6人	野川こども文化センター	12日
		藤崎こども文化センター	
		旭町こども文化センター	
		住吉こども文化センター	
		有馬こども文化センター	
		小倉こども文化センター	
日本デザイン福祉専門学校	1人	東高津こども文化センター	11日
町田福祉保育専門学校	2人	宮前平こども文化センター	10日
		千代ヶ丘こども文化センター	
日本ウェルネス保育専門学校	1人	大戸こども文化センター	10日
鎌倉女子大学	2人	田島こども文化センター	24日
		南加瀬こども文化センター	
川崎市立看護短期大学	2人	南河原こども文化センター ふぁみいゆ南河原	2日
	2人	浅田こども文化センター ふぁみいゆ浅田	1日
国際こども福祉カレッジ	1人	宮崎こども文化センター	12日
川崎市立田島支援学校	1人	渡田こども文化センター	5日

②小学校・中学校生の職業体験の受入状況

依頼学校名	人数	実習場所	実習期間	
川崎区	旭町小学校	8人	旭町こども文化センター	1日
	臨港中学校	12人	田島こども文化センター	5日
	京町中学校	5人	浅田こども文化センター	1日
	小田小学校	3人	小田こども文化センター	1日
幸区	御幸中学校	6人	南河原こども文化センター	2日
	御幸中学校	4人	幸こども文化センター	2日
	塚越中学校	4人	下平間こども文化センター	2日
	南加瀬中学校	5人	南加瀬こども文化センター	2日
	南加瀬中学校	3人	小倉こども文化センター	1日
	塚越中学校	4人	北加瀬こども文化センター	2日
	日吉中学校	4人	北加瀬こども文化センター	1日

依 頼 学 校 名	人 数	実 習 場 所	実 習 期 間	
中原区	中原中学校	3人	新丸子こども文化センター	1日
	橋中学校	9人	新丸子こども文化センター	2日
	住吉小学校	15人	住吉こども文化センター	3日
	井田中学校	2人	井田こども文化センター	1日
	住吉中学校	6人	西加瀬こども文化センター	1日
	西中原中学校	11人	新城こども文化センター	2日
	西中原中学校	11人	大戸こども文化センター	2日
	宮内中学校	5人	宮内こども文化センター	1日
高津区	東橋中学校	4人	高津こども文化センター	2日
	東高津中学校	4人	二子こども文化センター	1日
	宮内中学校	7人	東高津こども文化センター	1日
	東高津中学校	5人	東高津こども文化センター	1日
	東橋中学校	6人	子母口こども文化センター	2日
	宮崎中学校	4人	梶ヶ谷こども文化センター	2日
宮前区	有馬中学校	6人	有馬こども文化センター	2日
	野川中学校	8人	野川こども文化センター	2日
多摩区	宿河原小学校	58人	柘形こども文化センター	9日
	生田中学校	4人	柘形こども文化センター	2日
	宿河原小学校	82人	長尾こども文化センター	9日
	稲田中学校	4人	長尾こども文化センター	1日
	南生田中学校	8人	錦ヶ丘こども文化センター	2日
	生田中学校	2人	三田こども文化センター	2日
	菅中学校	6人	菅こども文化センター	2日

### ③小学校・中学校生のまち探検（社会科見学）の受入状況

依 頼 学 校 名	人 数	実 習 場 所	実 習 期 間	
川崎区	旭町小学校	62人	旭町こども文化センター	2日
	富士見中学校	10人	旭町こども文化センター	1日
	川崎小学校	4人	日進町こども文化センター	1日
	田島小学校	21人	渡田こども文化センター	2日
	大師小学校	7人	大師こども文化センター	1日
	殿町小学校	22人	殿町こども文化センター	1日
	渡田小学校	17人	田島こども文化センター	1日
	浅田小学校	52人	浅田こども文化センター	1日
	小田小学校	20人	小田こども文化センター	2日
	新町小学校	64人	小田こども文化センター	1日
	東小田小学校	6人	小田こども文化センター	1日

依 頼	学 校 名	人 数	実 習 場 所	実習期間
幸区	南河原小学校	9人	南河原こども文化センター	1日
	古川小学校	197人	幸こども文化センター	4日
	戸手小学校	8人	幸こども文化センター	2日
	塚越中学校	10人	幸こども文化センター	2日
	夢見ヶ崎小学校	56人	南加瀬こども文化センター	1日
	小倉小学校	18人	小倉こども文化センター	1日
	日吉小学校	20人	北加瀬こども文化センター	2日
中原区	上丸子小学校	5人	新丸子こども文化センター	1日
	西丸子小学校	12人	新丸子こども文化センター	1日
	下小田中小学校	17人	井田こども文化センター	2日
	井田小学校	66人	井田こども文化センター	2日
	平間小学校	8人	平間こども文化センター	1日
	下河原小学校	12人	平間こども文化センター	1日
	玉川小学校	7人	玉川こども文化センター	1日
	住吉中学校	4人	西加瀬こども文化センター	1日
	荻宿小学校	36人	西加瀬こども文化センター	2日
	新城小学校	8人	新城こども文化センター	1日
	大戸小学校	28人	新城こども文化センター	2日
	大谷戸小学校	193人	大戸こども文化センター	2日
	聾学校小学校	3人	大戸こども文化センター	2日
	宮内小学校	13人	宮内こども文化センター	1日
高津区	向ヶ丘中学校	12人	上作延こども文化センター	1日
	高津小学校	11人	高津こども文化センター	1日
	坂戸小学校	123人	二子こども文化センター	2日
	久本小学校	92人	二子こども文化センター	1日
	東高津小学校	190人	東高津こども文化センター	4日
	末長小学校	10人	末長こども文化センター	1日
	子母口小学校	12人	子母口こども文化センター	1日
	梶ヶ谷小学校	158人	梶ヶ谷こども文化センター	3日
宮前区	宮崎台小学校	5人	宮崎こども文化センター	1日
	西有馬小学校	50人	有馬こども文化センター	3日
	有馬小学校	4人	有馬こども文化センター	1日
	宮崎小学校	16人	有馬こども文化センター	1日
	南野川小学校	8人	野川こども文化センター	1日
	野川小学校	139人	野川こども文化センター	2日
	西野川小学校	5人	野川こども文化センター	1日
	宮崎台小学校	8人	宮前平こども文化センター	1日
	富士見台小学校	74人	宮前平こども文化センター	2日
	向丘小学校	21人	平こども文化センター	2日
	白幡台小学校	58人	白幡台こども文化センター	3日

依 頼 学 校 名	人 数	実 習 場 所	実習期間	
多摩区	東生田小学校	16人	枳形こども文化センター	1日
	宿河原小学校	20人	長尾こども文化センター	1日
	稲田中学校	4人	長尾こども文化センター	1日
	生田小学校	78人	錦ヶ丘こども文化センター	1日
	南生田小学校	220人	錦ヶ丘こども文化センター	2日
	三田小学校	142人	三田こども文化センター	5日
	菅小学校	22人	菅こども文化センター	1日
	中野島小学校	17人	中野島こども文化センター	1日
	中野島中学校	28人	中野島こども文化センター	1日
	南菅小学校	6人	南菅こども文化センター	1日
麻生区	百合丘小学校	9人	百合丘こども文化センター	1日
	長沢小学校	100人	東百合丘こども文化センター	1日
	千代ヶ丘小学校	79人	千代ヶ丘こども文化センター	2日
	王禅寺中央小学校	7人	白山こども文化センター	2日
	真福寺小学校	36人	白山こども文化センター	1日
	麻生小学校	4人	麻生こども文化センター	1日

#### ④私立中学生・高校生ボランティアの受入状況

依 頼 学 校 名	人 数	受 入 場 所	受入期間
県立高津養護学校	15人	有馬こども文化センター	3日

#### ⑤チャレンジボランティア（夏期）の受入状況

主 催 者	人 数	受 入 場 所	受入期間
川崎市社会福祉協議会 区社会福祉協議会 川崎市公園緑地協会 川崎授産学園	4人	幸こども文化センター	1日
	1人	戸手小学校わくわくプラザ	2日
	2人	御幸小学校わくわくプラザ	2日
	2人	西御幸小学校わくわくプラザ	2日

#### ⑥社会体験研修（教諭）の受け入れ状況

依 頼 学 校 名	人 数	受 入 場 所	受入期間
県立川崎北高等学校	1人	菅こども文化センター	2日
県立保土ヶ谷養護学校	1人	殿町こども文化センター	3日

## 【別表9】研修実施状況

### ①財団主催研修（全市合同）

研 修 名	講 師	対 象	参加数	開 催 場 所
新任館長・新任職員研修 （全5日間開催）	主幹、係長、主任、本部職員 中原消防署 社会保険労務士	館 長 職 員	延べ 221人	財 団 本 部 中 原 消 防 署
主 任 研 修 （3回開催）	自主研修	主 任	延べ 60人	財 団 本 部
館長・主任本部体験研修 （全3日間開催）	本部職員 （職員係・施設係・事業係、 予算係・エリア担当・人材 育成係）	館 長 主 任	延べ 6人	財 団 本 部
職 員 研 修 「てんかんの正しい理解と 発作時の対応について」	聖マリアンナ医科大学病院 小児科教授、てんかんセン ター長 山本仁氏	館 長 職 員 チ ャ ー フ	延べ 580人	す くら む 2 1
職 員 研 修 「わくわくプラザ担当研修」	青少年事業課各係長	職 員	延べ 102人	総合自治会会館 財 団 本 部
館 長 研 修 「コーチング研修」	日本コーチ協会神奈川チャ プター 代表 阿部淳氏、 副代表 副島真由美氏	館 長 係 長	延べ 11人	財 団 本 部

### ②財団主催研修（区単位）

区	研 修 名	講 師	対 象	参加数	開 催 場 所
川 崎 区	川 崎 区 研 修 「チーフ情報交換研修～ チーフの仕事について」	藤崎こども文化センター 館長 森田 弘子氏	チ ャ ー フ	延べ 63人	旭 町 こ ど も 文 化 セ ン タ ー
	市民救命士養成講習 （心肺蘇生講習）	川崎市消防防災指導公社	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 36人	旭 町 こ ど も 文 化 セ ン タ ー
	川 崎 区 研 修 「主任講師体験研修」	渡田こども文化センター 主任 酒井 夕香氏	館 長 職 員	延べ 20人	渡 田 こ ど も 文 化 セ ン タ ー
	市民救命士養成講習 （普通救命講習）	川崎市消防防災指導公社	職 員 臨 時 職 員	延べ 32人	日 進 町 こ ど も 文 化 セ ン タ ー
幸 区	幸 区 研 修 「応急手当」	こども未来局子育て推進部 幸区保育総合支援担当 看護婦 三好 里美氏	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 48人	幸 こ ど も 文 化 セ ン タ ー
	幸 区 研 修 「ご意見・ご指摘対応」	青少年事業課 人材育成係 係長 中村 正信氏	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 49人	南 加 瀬 こ ど も 文 化 セ ン タ ー
	幸 区 研 修 「主任講師体験研修」	東高津こども文化センター 主任 川澄 幸代氏	館 長 職 員	延べ 15人	下 平 間 こ ど も 文 化 セ ン タ ー
	市民救命士養成講習 （心肺蘇生法講習）	川崎市消防防災指導公社	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 30人	下 平 間 こ ど も 文 化 セ ン タ ー

区	研 修 名	講 師	対 象	参加数	開 催 場 所
中原区	中原区研修 「子どもの応急手当」	日本赤十字社神奈川支部 赤十字救急法主任指導員 菅野 絹江氏、田中 容子氏	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 39人	大戸こども文化 セ ン タ ー
	中原区研修 「中高生対応～新学習 指導要項が育成を目指す こども像～」	川崎市総合教育センター 指導主事 永田 賢氏	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 27人	玉川こども文化 セ ン タ ー
	中原区研修 「主任講師体験研修」	青少年事業課 エリア事務担当 主任 會田 樹理氏	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 22人	大戸こども文化 セ ン タ ー
	市民救命士養成講習 (心肺蘇生法講習)	川崎市消防防災指導公社	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 36人	新丸子こども文化 セ ン タ ー
高津区	高津区研修 「チーフサポーター情報 交 換 研 修 」	高津区内こども文化センター 各館 館長7名	チ ー フ	延べ 40人	高津こども文化 セ ン タ ー
	高津区研修 「クレーム対応研修」	心理相談士 坪本 美代子氏	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 53人	高津こども文化 セ ン タ ー
	高津区研修 「主任講師体験研修」	東高津こども文化センター 主任 箕輪 泰明氏	館 長 職 員	延べ 19人	高津こども文化 セ ン タ ー
	市民救命士養成講習 (心肺蘇生法講習)	川崎市消防防災指導公社	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 24人	高津こども文化 セ ン タ ー
宮前区	宮前区研修 「ドッチビー審判研修」	宮前平こども文化センター 主任 長坂 しげ子氏 こども文化センター 職員 新村 恵美氏	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 34人	有馬こども文化 セ ン タ ー
	宮前区研修 「ドッチビー審判研修」	宮前平こども文化センター 主任 鈴木 陽介氏 白幡台こども文化センター 職員 吉野 華代氏	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 43人	白幡台こども文化 セ ン タ ー
	宮前区研修 「レクリエーション研修」	宮前平こども文化センター 主任 長谷川 寛隆氏 新城こども文化センター 職員 仮谷 美沙樹氏	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 35人	宮前平こども文化 セ ン タ ー
	宮前区研修 「クレーム対応研修」	青少年事業課 人材育成係 係長 中村 正信氏	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 52人	宮崎こども文化 セ ン タ ー
	宮前区研修 「主任講師体験研修」	宮前平こども文化センター 主任 鈴木 陽介氏	館 長 職 員	延べ 14人	宮前平こども文化 セ ン タ ー
	市民救命士養成講習 (普通救命講習)	川崎市消防防災指導公社	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 27人	宮崎こども文化 セ ン タ ー

区	研 修 名	講 師	対 象	参加数	開 催 場 所
多摩区	多摩区研修 「接遇に生かせるリフレ イミング研修」	南菅こども文化センター 館長 新井 正明氏	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 32人	南菅こども文化 セ ン タ ー
	市民救命士養成講習 (普通救命講習Ⅰ)	川崎市消防防災指導公社	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 25人	枅形こども文化 セ ン タ ー
	多摩区研修 「地域連携について」	長尾こども文化センター 館長 山田 和秀氏	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 33人	長尾こども文化 セ ン タ ー
	市民救命士養成講習 (心肺蘇生法講習)	川崎市消防防災指導公社	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 29人	長尾こども文化 セ ン タ ー
麻生区	市民救命士養成講習 (心肺蘇生法講習)	川崎市消防防災指導公社	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 30人	麻生こども文化 セ ン タ ー
	麻生区研修 「主任講師体験研修」	東百合丘こども文化センター 主任 木村 友也氏	館 長 職 員	延べ 19人	千代ヶ丘こども 文 化 セ ン タ ー
	麻生区研修 「中高生対応」	柿生こども文化センター 館長 土橋 元明氏	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 34人	東百合丘こども 文 化 セ ン タ ー
	麻生区研修 「こどもの救急箱～け が・病気別対処法～」	川崎市幸病院 看護師 中澤 亜希氏	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 43人	千代ヶ丘こども 文 化 セ ン タ ー

### ③川崎市主催研修

研 修 名	講 師	対 象	参加数	開 催 場 所
第 1 回「接遇・対応」	エグゼクティブコンサルタント 花田 恵美氏	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 129人	生涯学習プラザ
第 2 回「学校や地域と連携」	稗原ゆ～ず連絡会 代表 川田 和子氏	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 134人	生涯学習プラザ
第 3 回「児童虐待」	川崎市こども未来局児童家庭支援・ 児童虐待室精神科医 担当部長 大塚 俊弘氏 主任 桜井 亮平氏	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 133人	生涯学習プラザ
第 4 回アレルギー対応 (エピペン実習含む)	川崎幸病院看護師/科長 宮口 貴子氏 管理栄養士 主任 久米 直子氏	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 141人	生涯学習プラザ
第 5 回中高生への対応	川崎市総合教育センター 教育相談センター 指導主事 小清水 豊氏	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 130人	生涯学習プラザ
第 6 回保護者・家庭との連携	乳幼児親子支援 研究機構理事長 石井 栄子氏	館 長 職 員 臨 時 職 員	延べ 142人	生涯学習プラザ

研 修 名	講 師	対 象	参加数	開 催 場 所
第 7 回 障 害 児 対 応	川崎市総合教育センター 特別支援教育センター 指導主事 中村 めぐみ氏	館 長 職 員 臨時職員	延べ 138 人	生涯学習プラザ
遊びや活動の支援「アウトドア チャレンジに挑戦」 (全 3 回 開催)	大自然の広場代表 高森 茂範氏 特定非営利活動法人 国際自然大学職員	館 長 職 員 臨時職員	延べ 94 人	川崎市野川青少年 野外活動センター
第 8 回「外国につながる子ども の 支 援 」	川崎市総合教育センター カリキュラムセンター 指導主事 福岡 弘行氏	館 長 職 員 臨時職員	延べ 140 人	生涯学習プラザ
第 9 回「てんかん発作対応」	川崎市教育委員会 学校教育部健康 教育課 指導主事 田中 理恵 氏	館 長 職 員 臨時職員	延べ 138 人	生涯学習プラザ
第 10 回「衛生管理研修」	川崎市食品衛生協会 吉岡 宣行氏	館 長 職 員 臨時職員	延べ 115 人	生涯学習プラザ
遊びや活動の支援「手軽にレク リエーションを学ぶ」 (全 3 回 開催)	大自然の広場代表 高森 茂範氏 特定非営利活動法人 国際自然大学職員	館 長 職 員 臨時職員	延べ 105 人	川崎市野川青少年 野外活動センター
第 11 回「障害児対応」	川崎市教育委員会 学校教育部指 導課 指導主事 高山 深紀世氏	館 長 職 員 臨時職員	延べ 125 人	生涯学習プラザ
第 12 回「応急手当研修」 (全 2 回 開催)	川崎市消防防災指導公社	館 長 職 員 臨時職員	延べ 89 人	生涯学習プラザ
第 13 回「子どもの権利」	川崎市青少年支援室こどもの権利 担当課長 雨宮 米美氏	館 長 職 員 臨時職員	延べ 115 人	生涯学習プラザ
第 14 回「安全管理・事故防止」	川崎市教育委員会 学校教育部川 崎区教育担当課長 猫田 則文氏	館 長 職 員 臨時職員	延べ 101 人	生涯学習プラザ
第 15 回「不登校児対応」	NPO法人フリースペースたまり ば 理事長 西野 博之氏	館 長 職 員 臨時職員	延べ 90 人	生涯学習プラザ
野外研修「ネイチャークラフト 入門」 (全 3 回 開催)	ネイチャークラフト作家 長野 修 平氏、特定非営利活動法人国際自然 大学職員	館 長 職 員 臨時職員	延べ 57 人	川崎市野川青少年 野外活動センター

#### ④資格取得研修

研 修 名	講 師	対 象	取得者数	開 催 場 所
レクリエーションインストラク ター 資格取得公認講座	非特定非営利活動法人 神奈川県レクリエーション 協会	職 員	1 人	神 奈 川 県 立 ス ポ ー ツ 会 館
甲種防火管理者講習会	川崎市消防防災指導公社	館 長 主 任	2 人	川崎日航ホテル

研 修 名	講 師	対 象	取得者数	開 催 場 所
児童厚生員等基礎研修会 ( 児 童 厚 生 2 級 )	一般財団法人 児童健全育成推進財団	職 員	延べ 12人	国立オリンピック 記念青少年 総合センター
神奈川県放課後児童支援員認定 資格(6月、7月、11月、 1月、2月開催)	(株)東京リーガルマインド	館 長 職 員 臨時職員	延べ 228人	神奈川県公文書 館 横浜市健康福祉 総合センター
評価調査者認定研修	かながわ福祉サービス 第三者評価推進機構	館 長 係 長	延べ 4人	神 奈 川 県 社会福祉会館
児童厚生員等基礎研修会 ( 児 童 厚 生 1 級 )	一般財団法人 児童健全育成推進財団	館 長 主 任	延べ 6人	国立オリンピック 記念青少年 総合センター
雇用環境整備士資格講習会	社団法人 日本雇用環境整備機構	本 部 職 員	1人	中野サンプラザ
評価機関・評価調査者説明会	かながわ福祉サービス 第三者評価推進機構	館 長	22人	神奈川公会堂 川崎市役所第4 庁 舎

### 3 法人の運営

2010（平成22）年に公益財団法人としての認定を受け、その後、効果的な公益目的事業の実施と、法人としての役割・機能が発揮できる組織づくりを本部と現場が一体となって取り組みを進めてきました。また、当財団が実施している事業や財務に関して広く市民へ説明する責務を自覚して法人の運営を行いました。

#### ア 業務・組織の改革

法人全体の業務改善に取り組むとともに、事業計画の進捗管理を着実にを行い、コスト削減や効果的な事業の実施等を通じて、経営基盤の強化を図り、組織の総合力向上に努めました。

組織としての一体感の醸成や職員のスキルアップを図るため、各種研修等を実施するとともに、職員の意識改革の促進と人材育成にも取り組みました。

また、更なる業務の効率化を図るため、人事給与関連業務システムをクラウド環境に移行する準備を進めました。（2019年度夏に移行予定）

#### イ 財務改善

経理・会計処理では、公益法人会計基準に準拠した会計を的確に行うため、平成25年9月1日からP C A公益法人会計ソフトを導入して実施しています。平成26年度からは諸謝金の会計処理業務を委託から経理担当での直接実施に切り替えることにより、経費削減を図りました。また、各課との連携を図り、円滑な事務処理を行いました。

適正な会計処理の継続的な実施に向け、経理事務の改善を推進するとともに、安定した公益財団法人の経営を維持するために適切な財務管理を実施します。

#### ウ その他

平成29年度の事業報告書等の提出については、関係書類等を作成し監事監査を経て理事会及び評議員会（定時評議員会）での承認を受け、平成30年6月に行政庁（神奈川県）へ報告しました。関係書類等については事務所に備え置くとともに、貸借対照表を公衆の見やすい場所に掲示しました。

平成30年度の事業計画書及び収支予算等の提出については、平成30年3月15日の第3回理事会で承認を受け、3月30日に行政庁に報告しました。